

商品コード：215-1083207 (124cc/STD TYPE2/メッキ)

(Z50J-2000001～)
適合車種：モンキー/ゴリラ (AB27-1000001～1899999)
※12V クランクシャフト

代表車種を記載しています。最新の適合情報についてはウェブサイトをご参照ください。適合は国内仕様車のみとなります。

! クランクケースのボーリング加工が必要です。
当製品単品では使用できません。別売りの強化クラッチ、オイルポンプ、オイルクーラーKITなどを必ず使用してください。
また、その他のマフラーやキャブレターなどの推奨パーツも必ずご確認ください。

! ホンダが発行するサービスマニュアルおよびオーナーズマニュアルと併せて作業を行ってください。

i 推奨エンジンオイル： LIQUI MOLY MOTORBIKE 4T SYNTH 10W-50 STREET RACE
elf MOTO4 PRO TECH 5W-40

- この度はキタコ製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。取り付ける前に注意事項をお読みいただき、ご理解の上でご使用ください。
- 製品内容を必ずご確認ください。
- ホンダが発行するサービスマニュアルおよびオーナーズマニュアルと併せて作業を行ってください。
- このキットの組み付けには特殊工具が必要です。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項 (必ずお読み下さい)

- このパーツは競技用部品であり、保証の対象外となります。
- 組み込まれた車両での一般公道走行はできません。
- 記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- 出力アップに伴いノーマル状態からバランスが崩れ、各部の耐久性などが低下する可能性があります。通常よりも頻繁な点検整備が必要になります。
- !** 出力アップに伴いノーマル車両のような静音性や耐久性は損なわれます。
- 組み付けミスやセッティング不良による事故やパーツの破損については、保証の対象外となります。
- 指示に従って正しく組み付けてください。記載以外の改造は破損や故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 本製品の使用によって生じた付随的な損害、間接的な損害、および逸失利益などについては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周辺部品の役割などが理解できない場合は、必ず専門店の担当者または当社にご相談ください。

- 燃料は無鉛プレミアムガソリンを使用してください。
高圧縮比のため、レギュラーガソリンではノッキングなどでエンジンが損傷します。
- 必ず燃調セッティングを行ってください。
- 慣らし運転を必ず行ってください。ただし、慣らし運転中でもセッティング不良の場合はエンジンが損傷する恐れがあります。
- 出力特性が変わるため、状況に応じてオイルクーラーの取り付けやクラッチの強化などの追加作業が必要になります。
- !** 再使用する部品に損傷や摩耗がある場合は、新品に交換してください。
- 組み付ける部品は、新品であっても必ず洗浄を行ってください。
- オイルラインに詰まりがないか、エアダスターなどを使用して必ず確認してください。
- 製品にはエッジや突起がありますので、取り扱い時には手袋を着用し、怪我に注意してください。
- 仕様変更などにより、説明書の内容（イラストや写真）と異なる場合があります。
- 製品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

! 取扱説明書は専門的な知識を有する方を対象にしています。技能や知識がない方、説明書の内容が理解できない方は、作業を行わないでください。



回転している部品には手を触れないでください。ホイールなどを回さないでください。関連する部品が動き、予期せぬ事故が発生する恐れがあります。



十分な換気を行ってください。ガソリンは揮発性が高く身体に有害です。エンジンの始動は換気の良い場所で行ってください。



作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用するため、タバコなどの火気は厳禁です。



エンジンが作動中または作動後、シリンダーやクランクケース、マフラーなどが高温になっていますので、不用意に触れないようにしてください。



スパークチェックのために、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は絶対に行わないでください。引火や爆発の危険があります。



お気付きの点や異常を発見した場合は、直ちに走行を停止し、当社までご連絡ください。

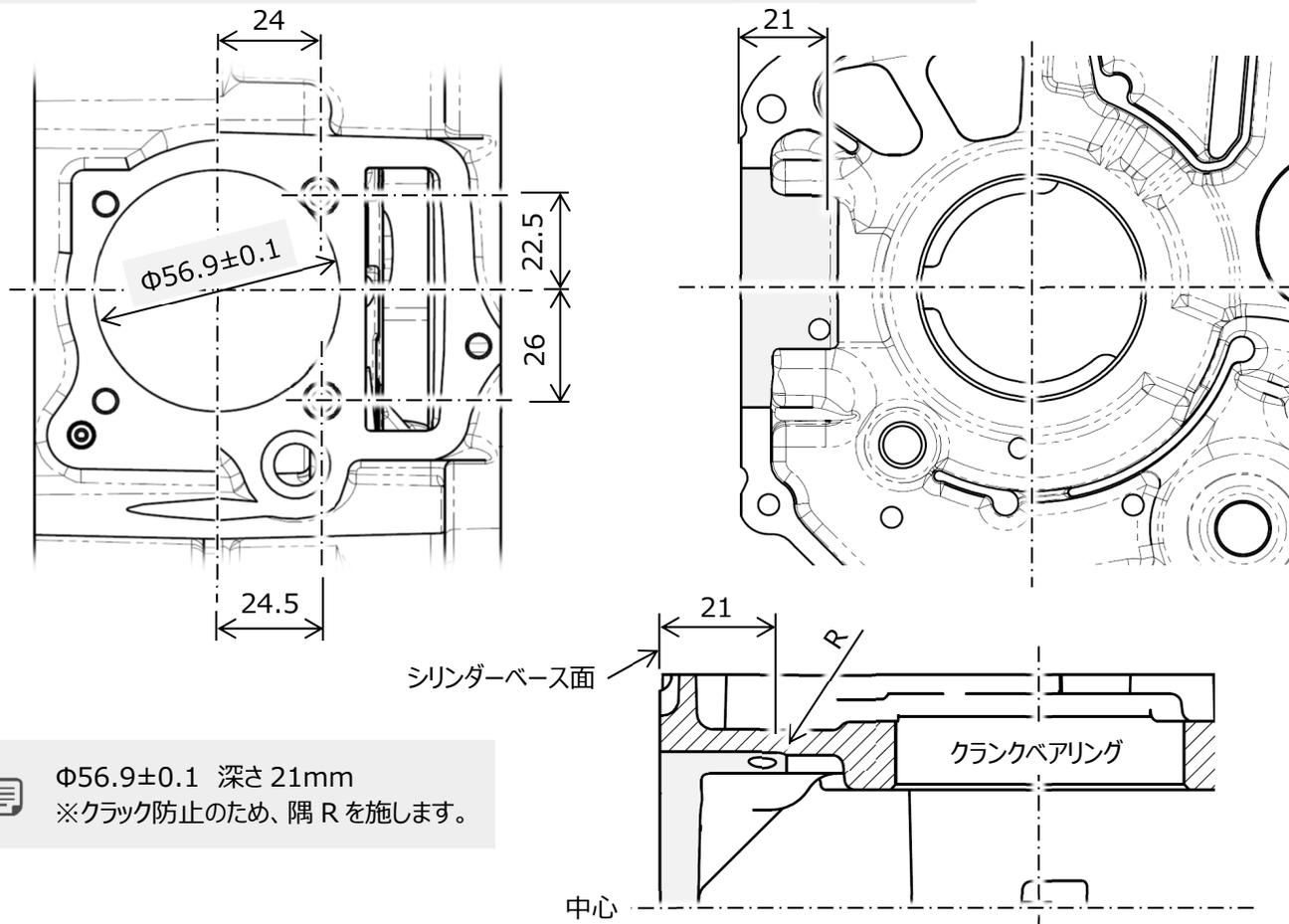
製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良が生じた場合は、同様の数量の新しい製品と交換、または無償修理をいたします。ただし、それに伴う故障、破損、事故などの損害、およびパーツ代金や整備費用の代償はご容赦ください。

クランクケースのボーリング加工について

- Φ54 ピストン用シリンダーを使用する場合、クランクケースのボーリング加工が必要です。
下図を参考にクランクケースのボーリング加工を行ってください。



クランクケースを加工すると、ノックピン穴の肉厚が薄くなり、強度が低下します。
スタッドボルトの締め付けには十分ご注意ください。
通常使用時でもクランクケースが破損する場合があります。あらかじめご了承ください。
なお、破損に関して如何なる場合においても、当社は一切の責任を負いかねます。



Φ56.9±0.1 深さ 21mm
※クラック防止のため、隅 R を施します。

当社にクランクケースボーリング加工を依頼される場合

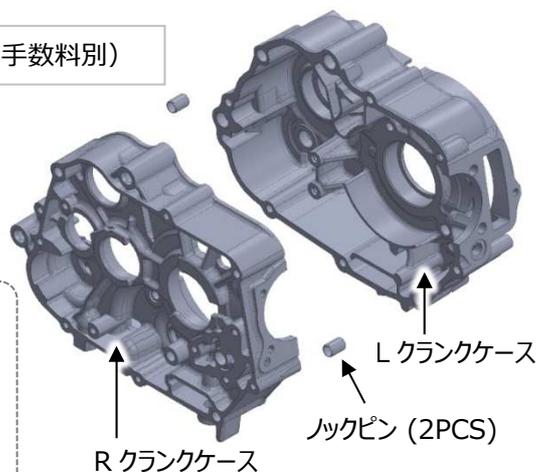
- L/R クランクケースとΦ10 ノックピン(2PCS)をお送り頂き、下記料金にてクランクケースのボーリング加工を当社で承ります。

加工料金 ¥8,000 (税抜/送料別/代引き手数料別)

不要パーツ：
 ・シリンダースタッドボルト
 ・Φ8 ノックピン
 ・オイルポンプ
 ・ドレンボルト
 ・シフトドラムストッパーアーム
 ・ニュートラルスイッチコンタクト
 ・カムチェーンテンショナーオイルフィラ
 ボルト/シーリングワッシャー

- 不要なパーツは必ず取り外してください。
(装着したままの場合、別途作業工賃 ¥2,000 を加算させていただきます)
- 合わせ面にガスケットが固着している場合は、きれいに取り除いてください。
- 汚れや油分をきれいに洗浄してください。
- 送付の際は、クランクケースが破損や傷つきなどしないよう、クッション性の高いもので覆ってください。
- 住所、氏名、連絡先(電話番号)を必ず明記のうえ、同封してください。

以上の作業を行ったうえで送付してください。



※ 当社では、上記の作業条件を満たしていない場合、加工を行わず、送料はお客様負担にて未加工のまま返品させていただく場合がありますので、ご了承ください。また、すでに加工が施されているなど、ボーリング加工が不可能と判断される場合もございます。

※ クランクケース加工時に「巣」や不具合が発見された場合、当社はその責任を負いません。

※ 輸送中の破損や傷つきについて、当社では一切の責任を負いません。

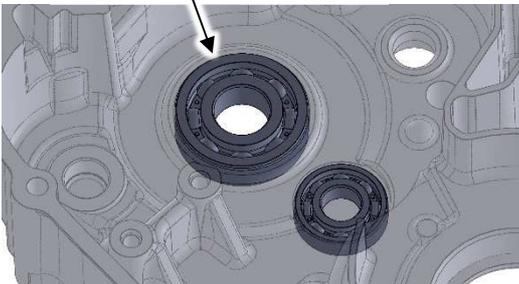
注意事項

- 本製品を取り付けると、出力アップに伴いエンジンの発熱量が増加します。エンジン保護のため、オイルクーラーキットを装着してください。
- エンジンオイルは必ず推奨品をご使用ください。添加剤を含む一部のオイルはエンジンや部品を損傷させる可能性があります。
- 無風状態での長時間のアイドリングはエンジン温度上昇やオイル循環機能低下の原因となるためお控えください。
- 外装の取り外しやその他の作業が必要です。脱着作業はサービスマニュアルに従って行ってください。
- エンジンの分解作業手順は、サービスマニュアルを参照してください。
- 分解したすべての部品を洗浄し、圧縮空気を使用して乾燥させてください。
- 商品に含まれていない部品はノーマル部品を再使用しますが、必ず点検を行い、損傷や劣化がある場合は交換してください。
- 組み付ける部品は、新品であっても必ず洗浄を行ってください。
- 取り付けの際は、必ず締め付けトルクを確認してください。
- イラスト（写真）は、純正状態と異なる場合があります。

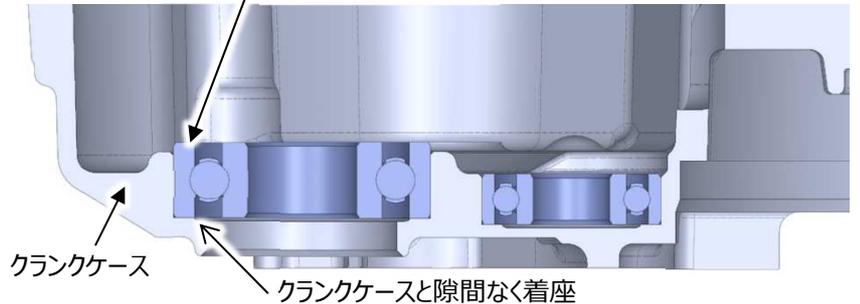
クランクケースの組み立て

- 各ベアリングを指で回し、静かに滑らかに回転するかを点検してください。
ベアリングのアウターレースがクランクケースに確実に圧入されているかを確認してください。
滑らかに回転しない場合や異音が発生する場合、またはアウターレースの取り付けにガタつきがある場合は、新品に交換してください。

ベアリング（アウターレース）



ベアリング（アウターレース）



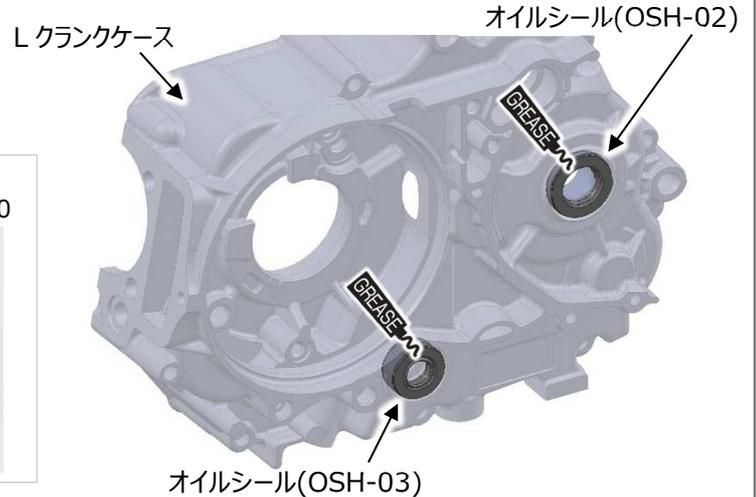
- 新品のオイルシールのリップ部にグリスを塗布してください。
マーク面を外側に向け、クランクケースと同じ高さになるように、オイルシールをLクランクケースに取り付けてください。

⚠ オイルシールを損傷しないように注意すること。

オプション部品： OSH-02
商品コード： 70-967-41020



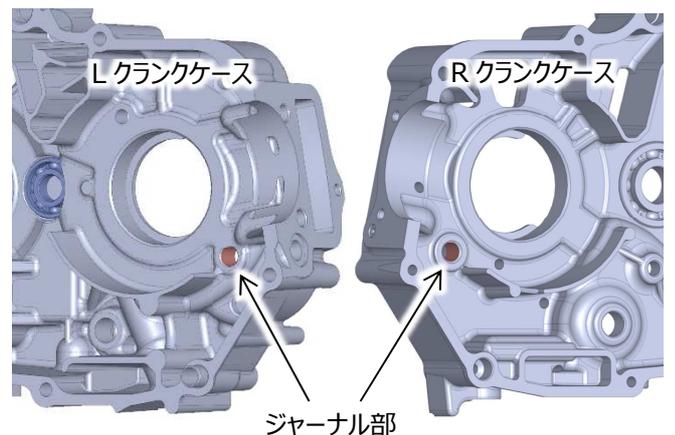
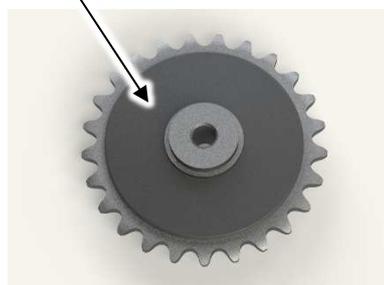
オプション部品： OSH-03
商品コード： 70-967-41030



カムチェーンガイドスプロケットの取り付け

- カムチェーンガイドスプロケットの摩耗、損傷を点検します。
- L/R クランクケースのスピンドルジャーナル部の摩耗、損傷を点検します。

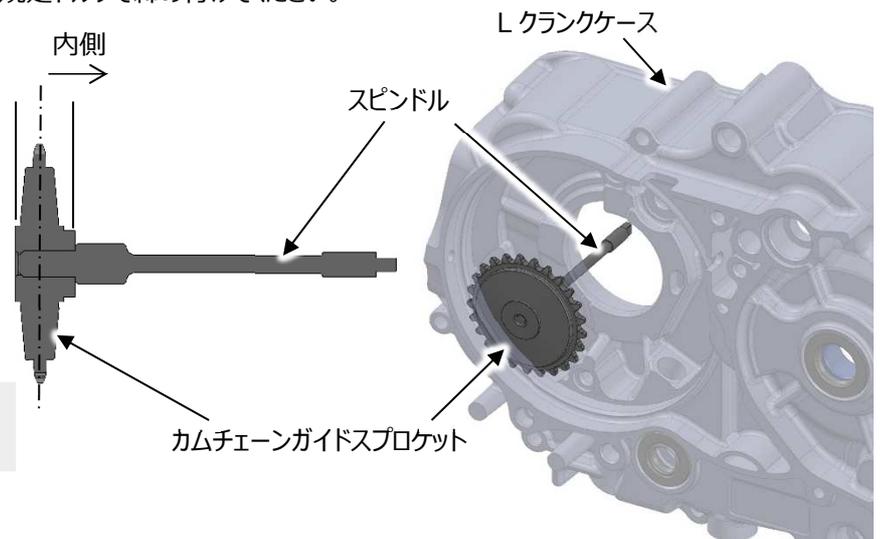
カムチェーンガイドスプロケット



カムチェーンガイドスプロケットの取り付け

- カムチェーンガイドスプロケットおよびスピンドルの摺動部にエンジンオイルを塗布してください。スピンドルを L クランクケースの内側から取り付けます。カムチェーンガイドスプロケットを固定し、スピンドルを規定トルクで締め付けてください。

 カムチェーンガイドスプロケットスピンドル
締め付けトルク：10 N・m



 スプロケットの厚みのある方を内側に向けます。

トランスミッションの取り付け

- トランスミッションの各ギアおよびシフトドラムにエンジンオイルを塗布してください。シフトフォークをギアにセットし、メインシャフト ASSY、カウンターシャフト ASSY、シフトドラム ASSY を組み付けます。
※図は 5 速クロスミッション ASSY です。

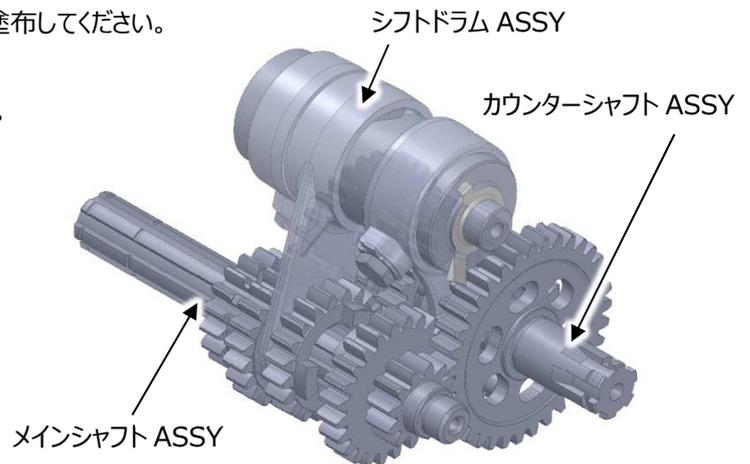
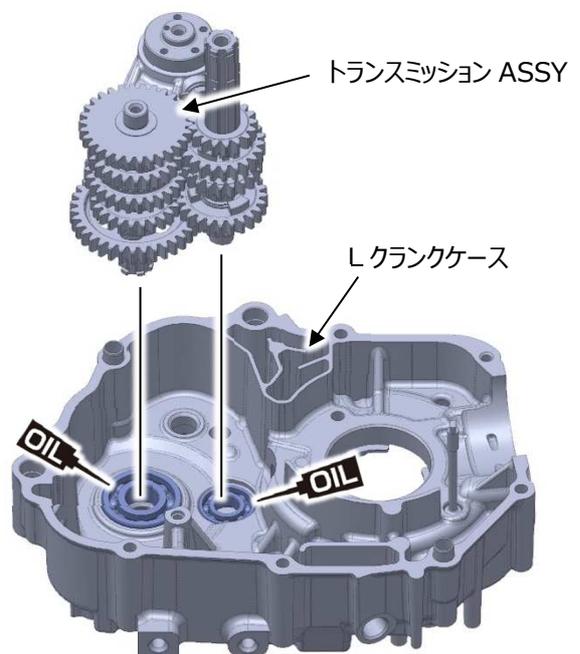


図:5 速クロスミッション ASSY

- ベアリングにエンジンオイルを塗布してください。
- オイルシールを損傷しないよう注意しながら、トランスミッション ASSY を L クランクケースに取り付けてください。取り付け後、ギアが滑らかに回転することを確認してください。

 オイルシールを損傷しないように注意すること。

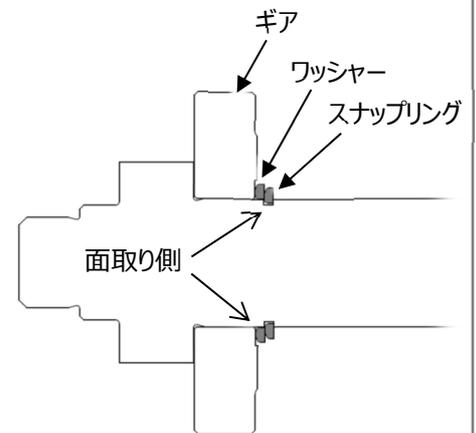
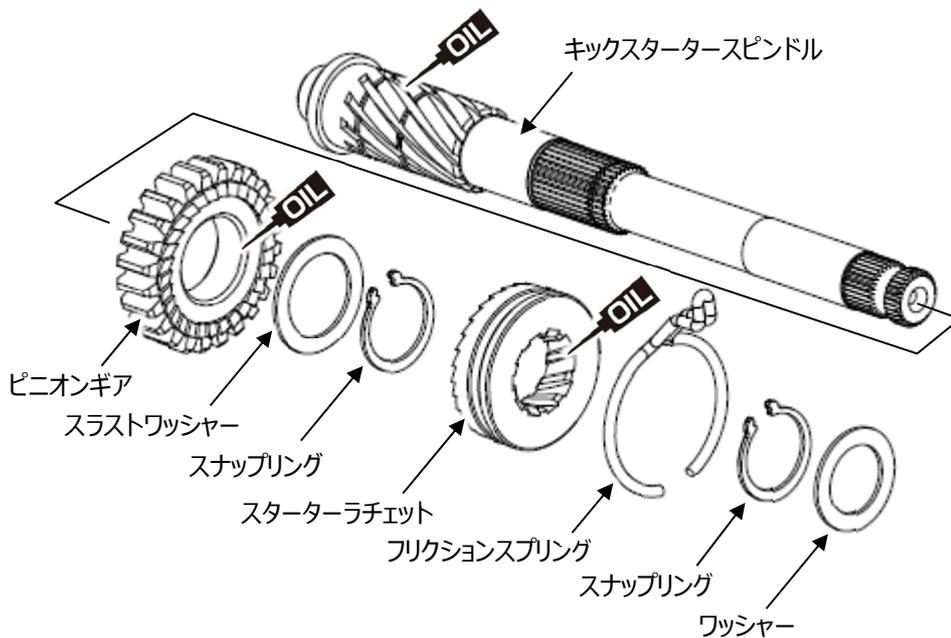


トランスミッションの取り付け

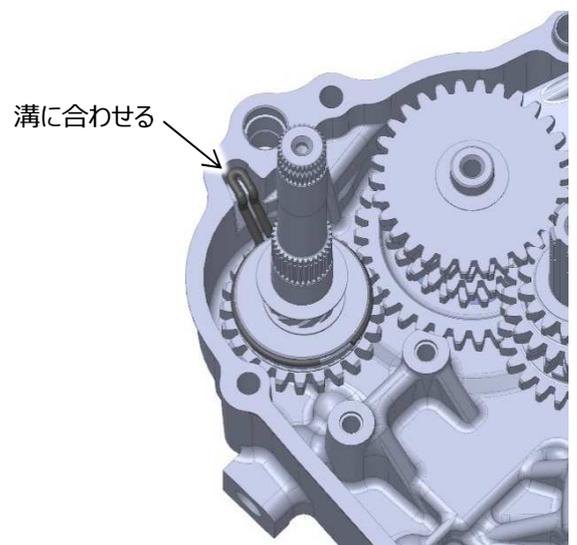
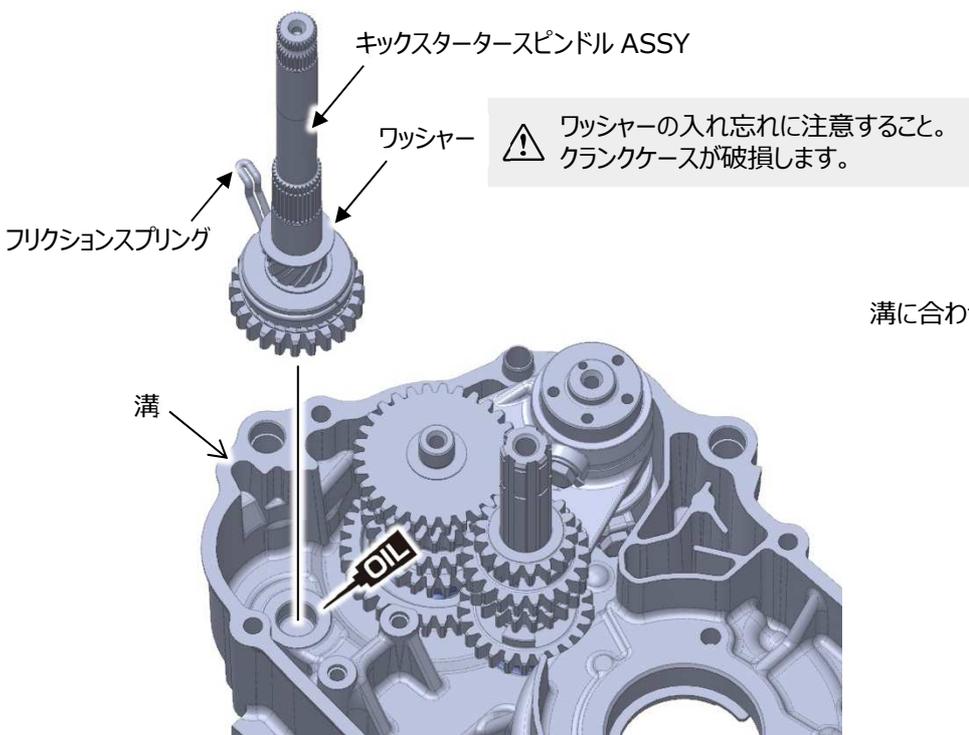
- キックスタータースピンドルの摺動部に摩耗や損傷がないか点検してください。
フリクションスプリングに損傷がないか点検してください。
ピニオンギアおよびスターラーチェットの歯に異常摩耗や損傷がないか点検してください。
- ピニオンギアの内周面にエンジンオイルを塗布してください。
各 부품の取り付け方向に注意し、分解時と逆の手順で組み立ててください。



- i** ワッシャーおよびスナップリングは、面取りをスラスト荷重側に向けて取り付けてください。
スナップリングの合い口は、スプラインの谷に合わせて組み付けてください。
スナップリング取り付け後、シャフトの溝に確実に入っていることを確認してください。
へたりがあるスナップリングは再使用しないでください。



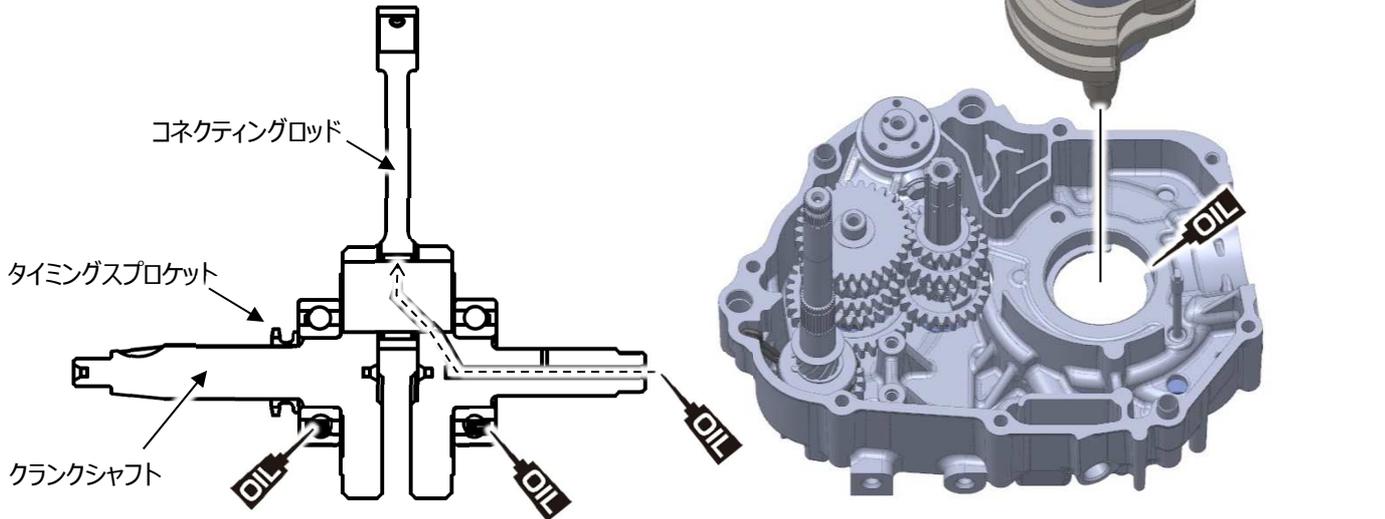
- フリクションスプリングをクランクケースの溝に合わせ、キックスタータースピンドル ASSY を L クランクケースに取り付けてください。



クランクシャフトの取り付け

- クランクシャフト右側軸端部からエンジンオイルを注入し、コネクティングロッド大端部ベアリングにオイルを供給してください。また、クランクシャフトのベアリング部にもエンジンオイルを塗布してください。
- コネクティングロッドがクランクケースに干渉しないように注意し、タイミングスプロケットをLクランクケース側に向けてクランクシャフトを取り付けます。

i クランクシャフトベアリングとクランクケースは圧入を必要としない嵌め合いです。軽く入らない場合は再度点検してください。

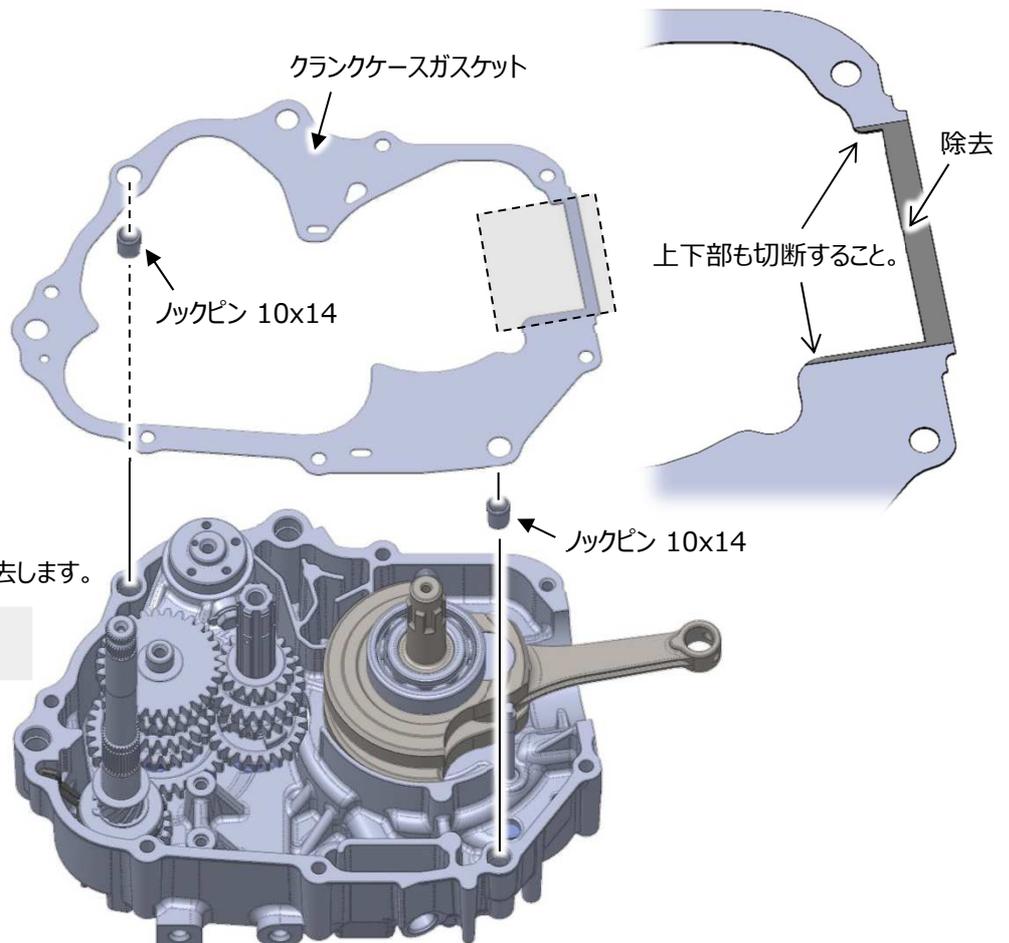


ガスケット/ノックピンの取り付け

- クランクケースの合わせ面を清掃します。
- ノックピン 10x14 を取り付けます。

! ノックピンに損傷がある場合は新品と交換すること。

補修部品: ノックピン 10x14
商品コード: 70-989-10140



- クランクケースガスケットを取り付けます。ガスケットのシリンダー開口部を切断除去します。

! 図に従い、上下部も切断すること。

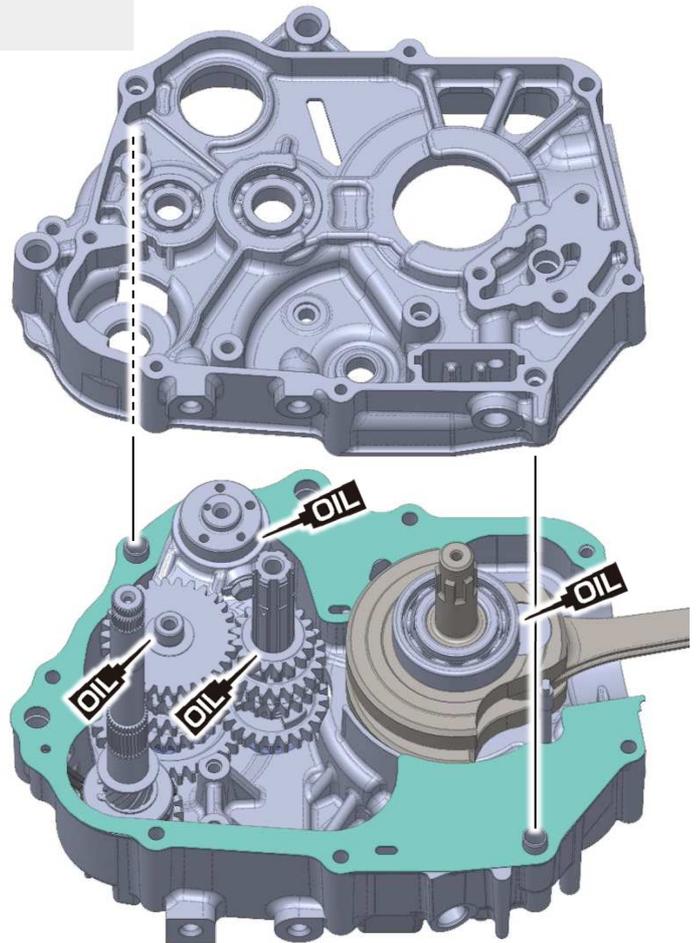
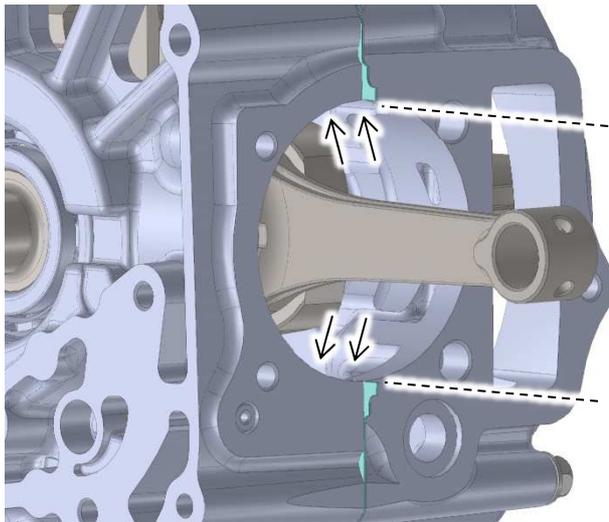
クランクケースの組み立て

- R クランクケースをL クランクケースに取り付けます。

i クランクシャフトベアリングとクランクケースは圧入を必要としない嵌め合いです。軽く入らない場合は再度点検してください。

⚠ 合わせ面に傷をつけないように注意すること。

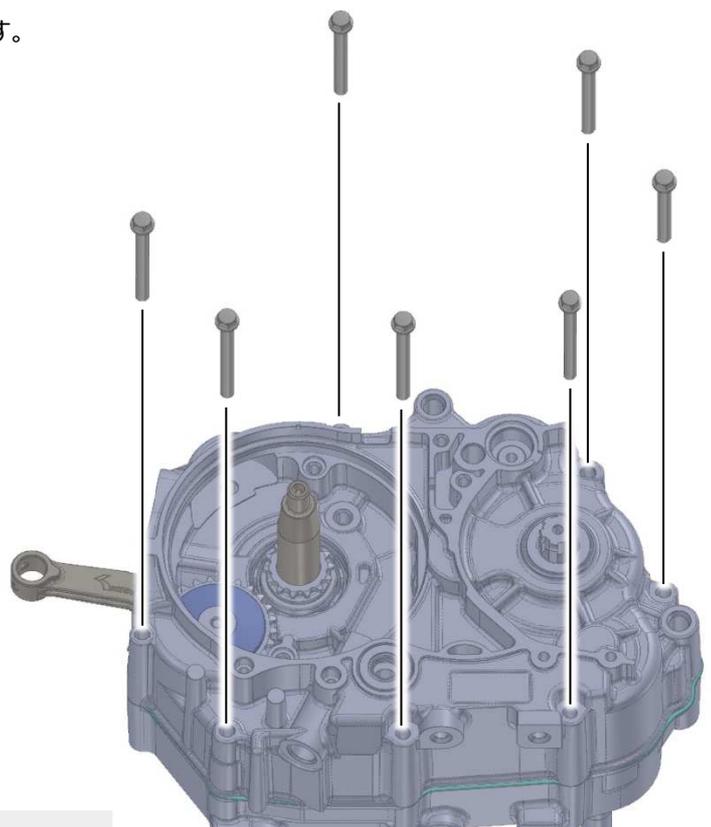
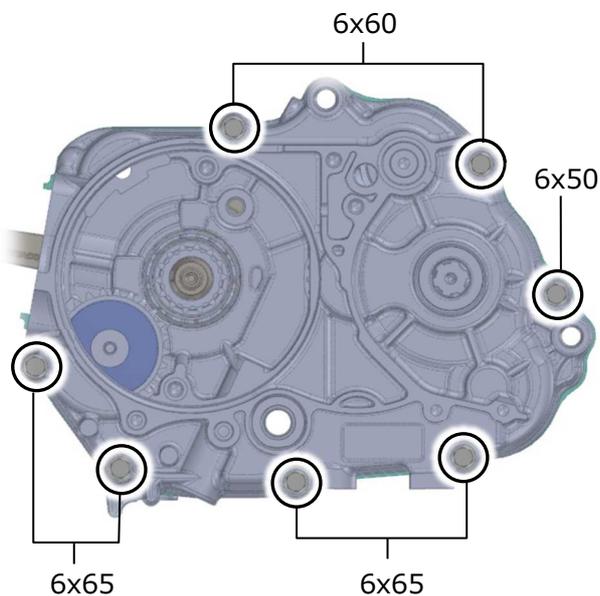
⚠ クランクケースガスケットが内側に出ないように注意すること。ガスケットとシリンダーが接触した状態で使用するとエンジンが破損します。



i シリンダーベース面に出ているガスケットは、R クランクケースを締め付け後に除去します。

- クランクケースを裏返します。
- 6mm フランジボルトの位置に注意し、クランクケースに取り付けます。対角線上に2~3回に分けて規定トルクで締め付けます。

📄 フランジボルト 6mm
締め付けトルク：10 N・m



⚠ ボルト長さは参考です。必ずご使用されるクランクケースに合わせたボルト長さを確認してください。

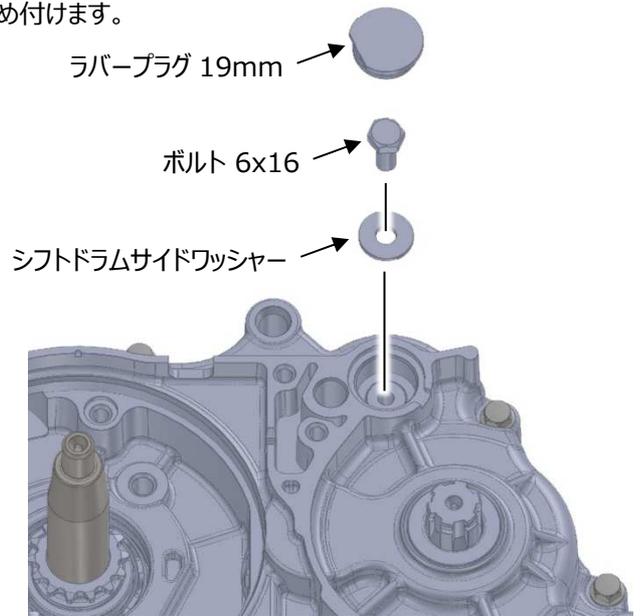
クランクケースの組み立て

- シフトドラムサイドワッシャーとボルト 6x16 を取り付け、規定トルクで締め付けます。

ボルト 6x16
締め付けトルク：10 N・m

シフトドラムサイドワッシャーは専用の物を使用すること。
指定外のワッシャーを使用した場合、エンジンが破損します。

- ラバープラグ 19mm を取り付けます。



カムチェーンテンショナーの取り付け

- カムチェーンテンショナーローラー内周面にエンジンオイルを塗布します。
カムチェーンテンショナーローラーをテンショナーアームに取り付けます。

テンショナーローラーに損傷、劣化がある場合は新品と交換すること。

- テンショナーアームをクランクケースに取り付け、ピボットボルトを規定トルクで締め付けます。

ピボットボルト
締め付けトルク：16 N・m

オプション部品: SPL カムチェーンテンショナー SET
商品コード: 303-1083810

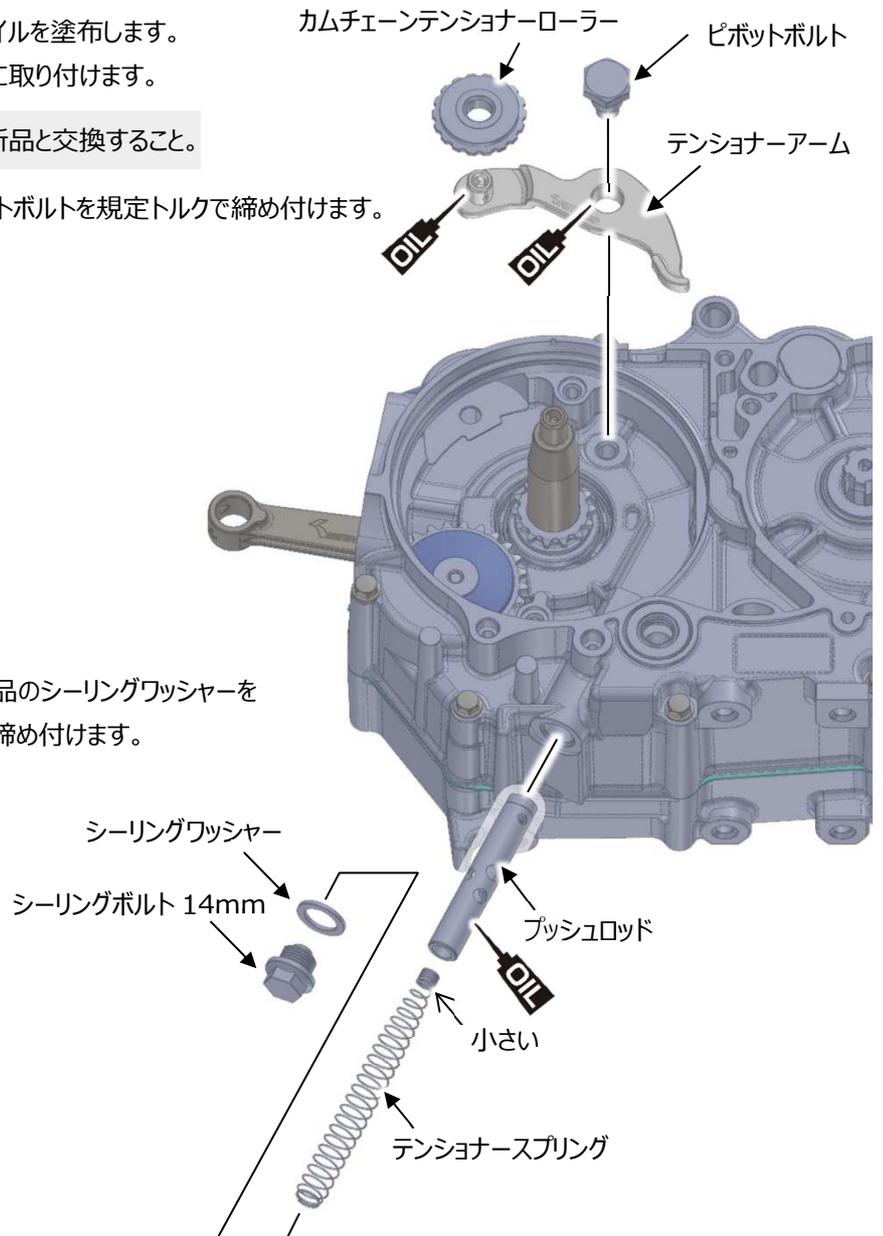


- カムチェーンテンショナープッシュロッド、スプリング、新品のシーリングワッシャーを取り付け、シーリングボルト 14mm を規定トルクで締め付けます。

シーリングボルト 14mm
締め付けトルク：22 N・m

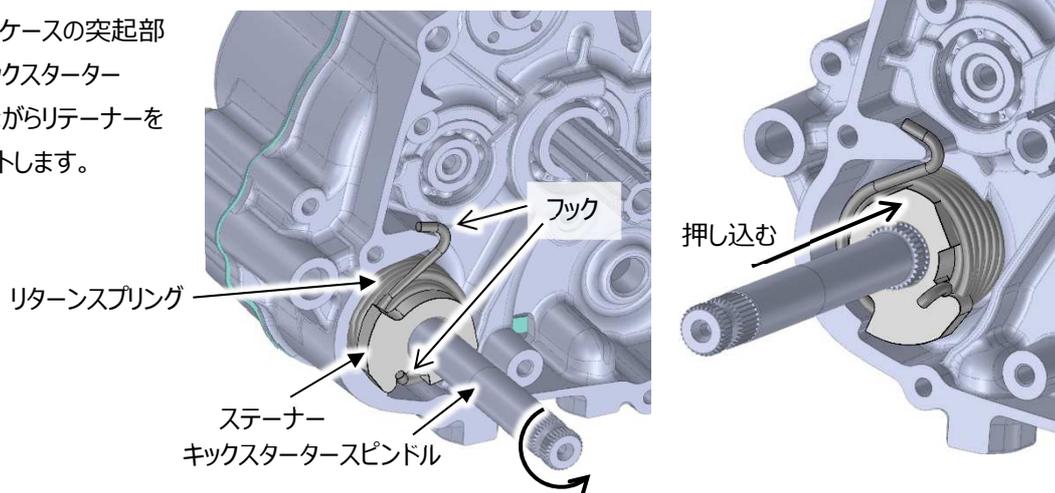
スプリングは径の小さい方を上に向けます。

オプション部品: シーリングワッシャー 14x20x1.5
商品コード: 0900-092-00007

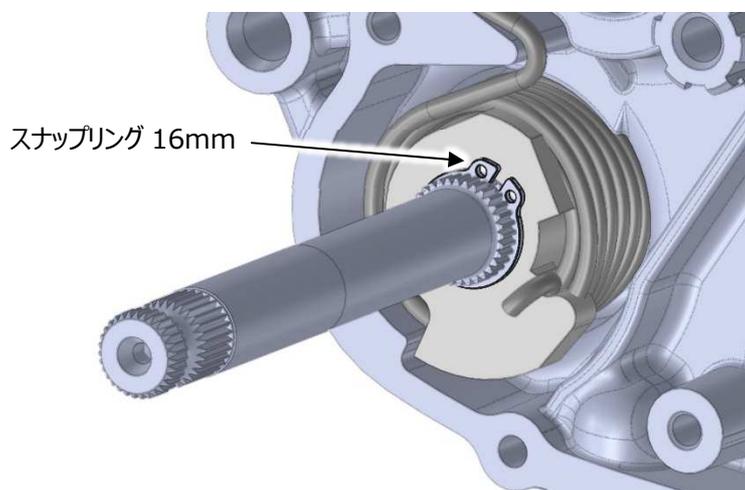


キックスターターの取り付け

- リターン springs とリテーナーをキックスタータースピンドルに取り付けます。
- リターン springs のフックをクランクケースの突起部とリテーナーの突起部に掛け、キックスタータースピンドルを反時計方向に回しながらリテーナーをクランクケース内に押し込み、セットします。

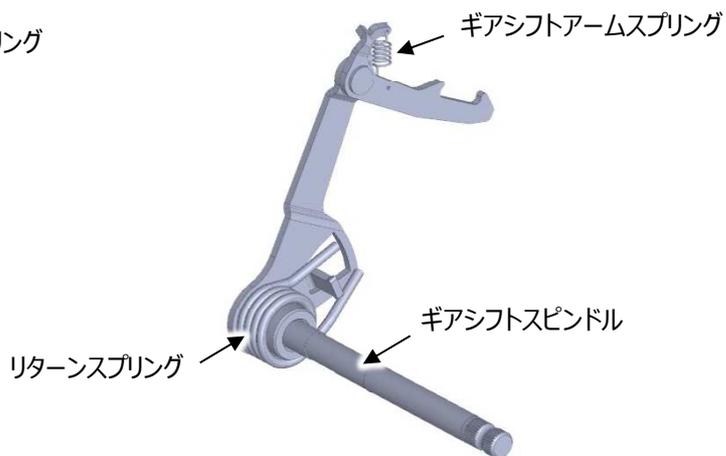


- 面取り側を内側に向けてスナップリング 16mm をスピンドルの溝に確実に取り付けます。



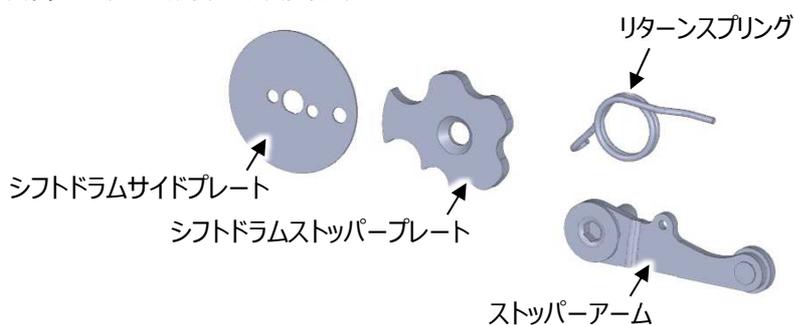
ギアシフトリンケージの取り付け

- ギアシフトスピンドル、ギアシフトアームスプリング、リターン springs の摩耗、損傷、変形、へたりを点検する。



- シフトドラムサイドプレート、シフトドラムストッパープレート、ストッパーアーム、リターン springs の摩耗、損傷、変形、へたりを点検する。

i 画像は参考図です。使用するミッションやクランクケースにより、形状が異なります。



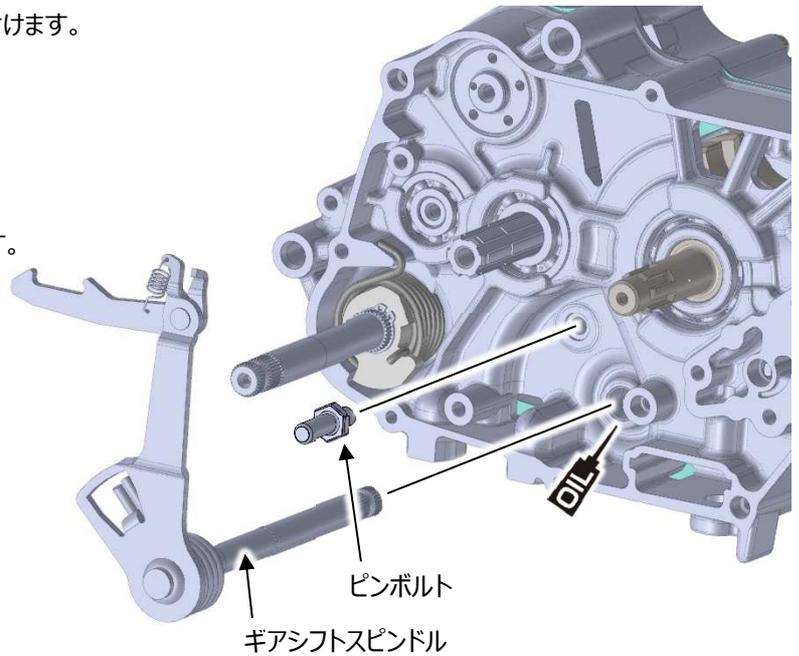
ギアシフトリンケージの取り付け

- ピンボルトをクランクケースに取り付け、規定トルクで締め付けます。

 **ピンボルト**
締め付けトルク：30 N・m

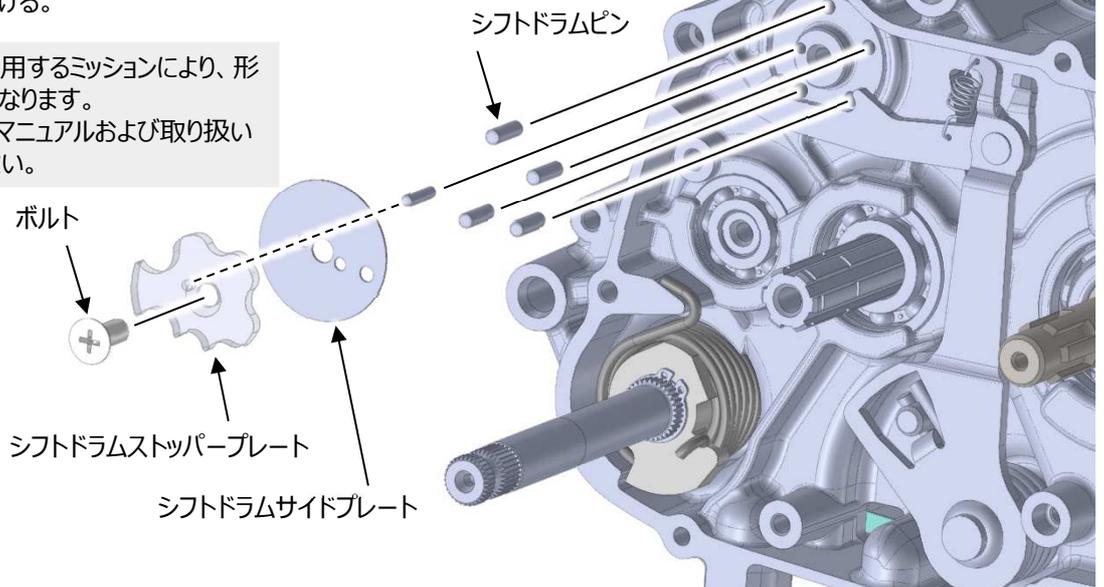
- ギアシフトスピンドルの軸受部にエンジンオイルを塗布します。
リターン springs の間にピンボルトが入るように、
ギアシフトスピンドルをクランクケースに取り付けます。

 オイルシールを損傷しないように注意する。



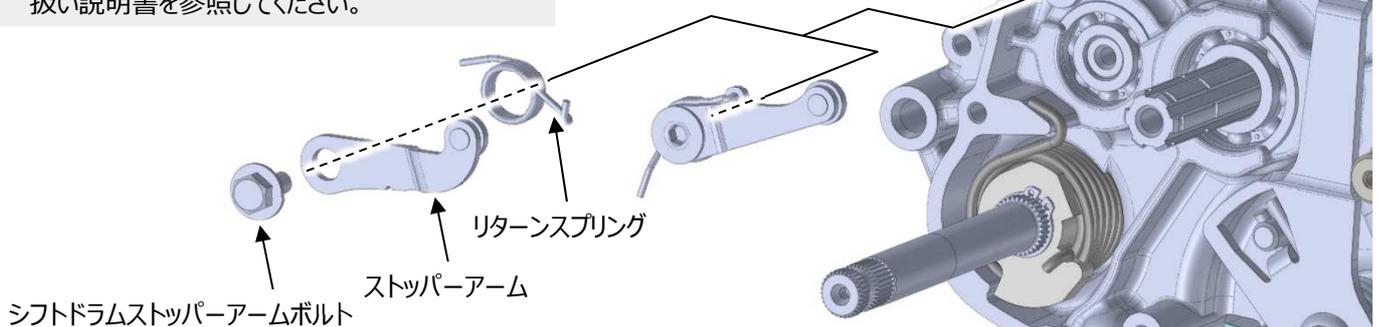
- シフトドラムピンをシフトドラムの穴に取り付けます。
シフトドラムサイドプレート、シフトドラムストッパープレートの穴をシフトドラムピンに合わせて取り付けます。
ボルトのネジ部にネジロック剤を塗布します。
ボルトを指定トルクで締め付ける。

 画像は参考図です。使用するミッションにより、形状や取り付け方法が異なります。詳しくは対象のサービスマニュアルおよび取り扱い説明書を参照してください。



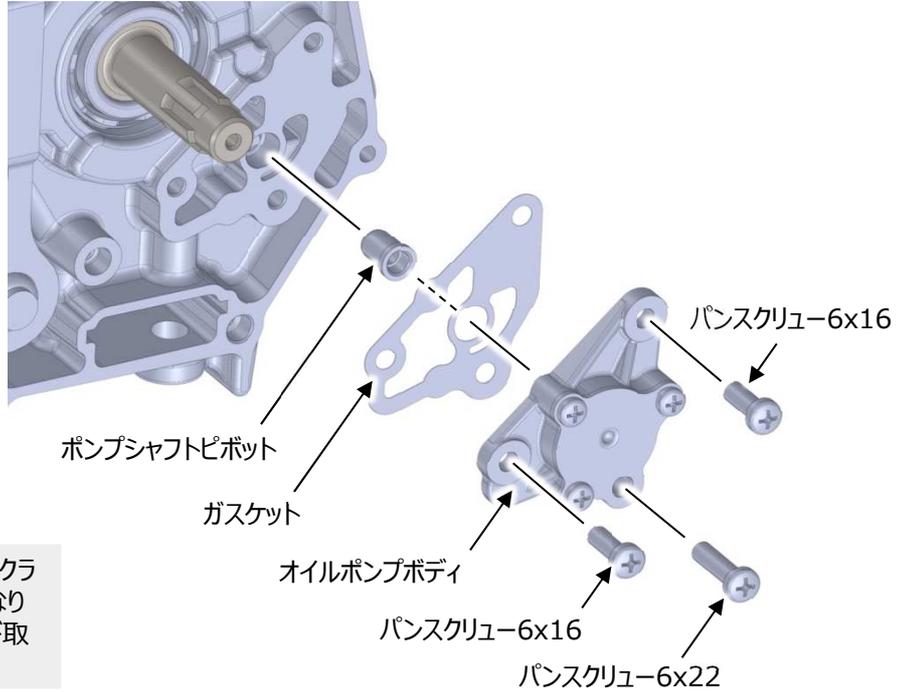
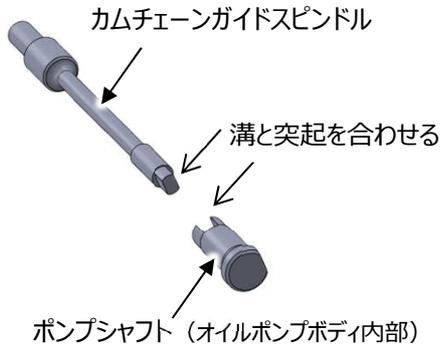
- シフトドラムストッパーアームボルトのネジ部にネジロック剤を塗布します。
リターン springs、ストッパーアーム、ボルトを取り付ける。
シフトドラムストッパーアームボルトを指定トルクで締め付けます。

 画像は参考図です。使用するミッションやクランクケースにより、形状や取り付け方法が異なります。詳しくは対象のサービスマニュアルおよび取り扱い説明書を参照してください。



オイルポンプの取り付け

- オイルポンプボディにガスケットを取り付けます。
オイルポンプ内部にオイルを注入します。
カムチェーンガイドスピンドルの凸部にポンプシャフトピボットが入っているか確認し、ポンプシャフトの凹部を合わせ、パンスクリュー6mmを規定トルクで締め付けます。



パンスクリュー 6mm
締め付けトルク : 8 N・m

画像は参考図です。使用するオイルポンプやクランクケースにより、形状や取り付け方法が異なります。詳しくは対象のサービスマニュアルおよび取り扱い説明書を参照してください。

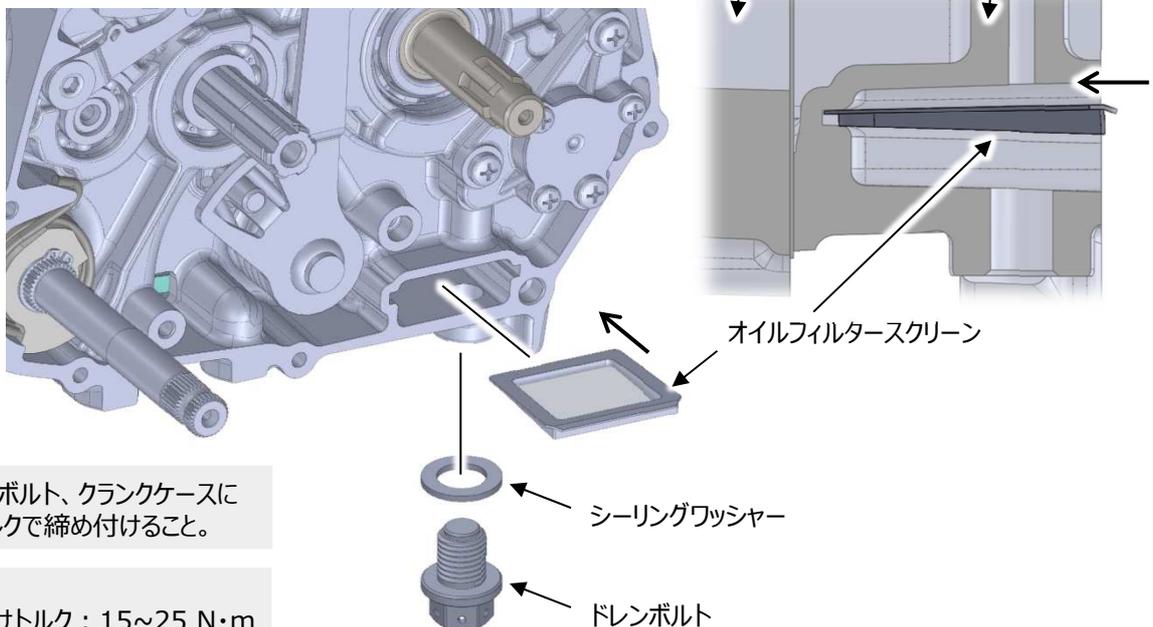
- オイルポンプを分解した場合はオイルポンプカバーパンスクリュー5mmを規定トルクで締め付けます。

パンスクリュー 5mm
締め付けトルク : 5 N・m

オイルフィルタースクリーンの取り付け

- オイルフィルタースクリーンを方向に注意し、R クランクケースに取り付けます。
- 新品のシーリングワッシャー、ドレンボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 損傷、劣化している場合は新品に交換すること。



⚠ 使用するドレンボルト、クランクケースに準じた規定トルクで締め付けること。

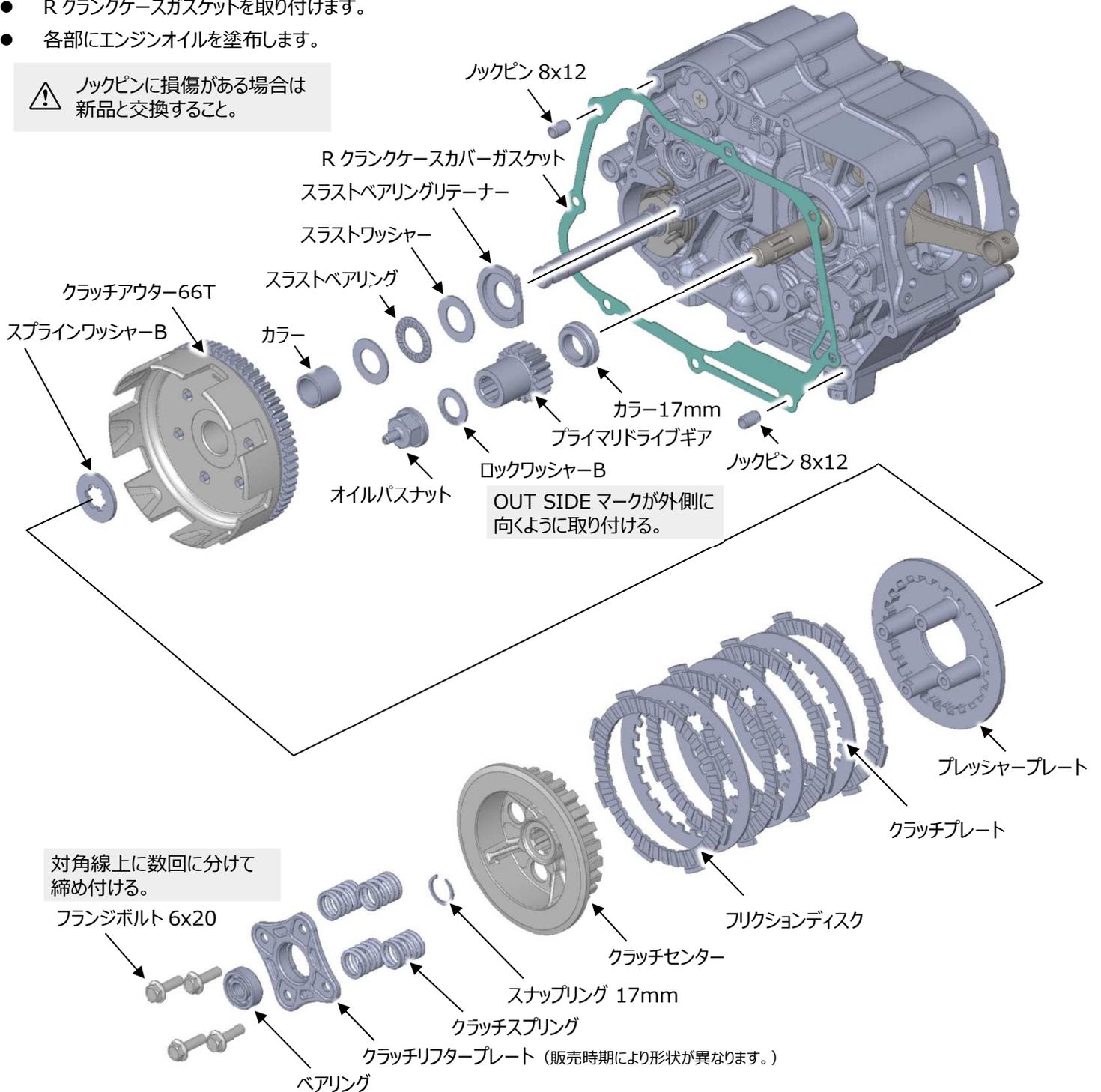
ドレンボルト
目安 締め付けトルク : 15~25 N・m

クラッチの取り付け

本項は参考に記載しています。
使用するクラッチ KIT のサービスマニュアルおよび取り扱い説明書を参照し、取り付けを行ってください。

- クランクケースの合わせ面を清掃します。
- ノックピン 8x12 を取り付けます。
- R クランクケースガスケットを取り付けます。
- 各部にエンジンオイルを塗布します。

⚠ ノックピンに損傷がある場合は
新品と交換すること。



補修部品: ノックピン 8x12
商品コード: 70-989-08120

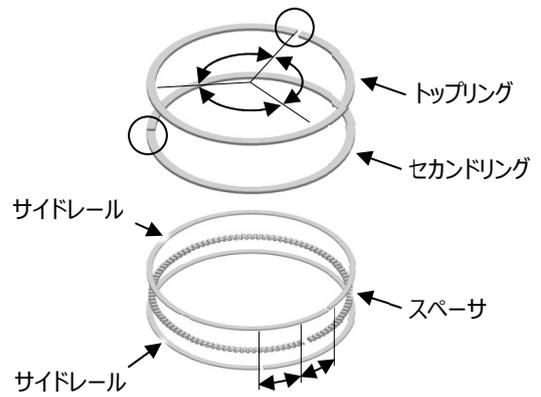


ピストンの取り付け

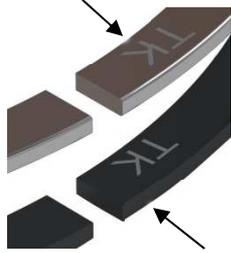
- リングおよびリング溝にエンジンオイルを塗布します。
リング溝をよく清掃し、ピストンリングを取り付けます。
ピストンピンクリップを溝に正しくセットします。

ピストンリングの刻印を上にしてピストンリングの溝に慎重に取り付けます。
トップリングとセカンドリングを混同しないください。

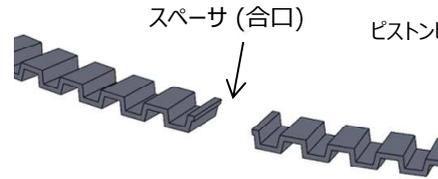
- ⚠️ ピストンリングの端のギャップを互い違いに 120° 離して配置します。
図のように、サイドレールの端のギャップをずらして配置します。
スペーサは合口が上方方向に配置します。



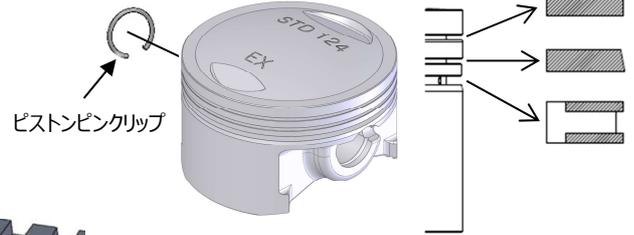
トップリング (グレー/シルバー)



セカンドリング (ブラック)

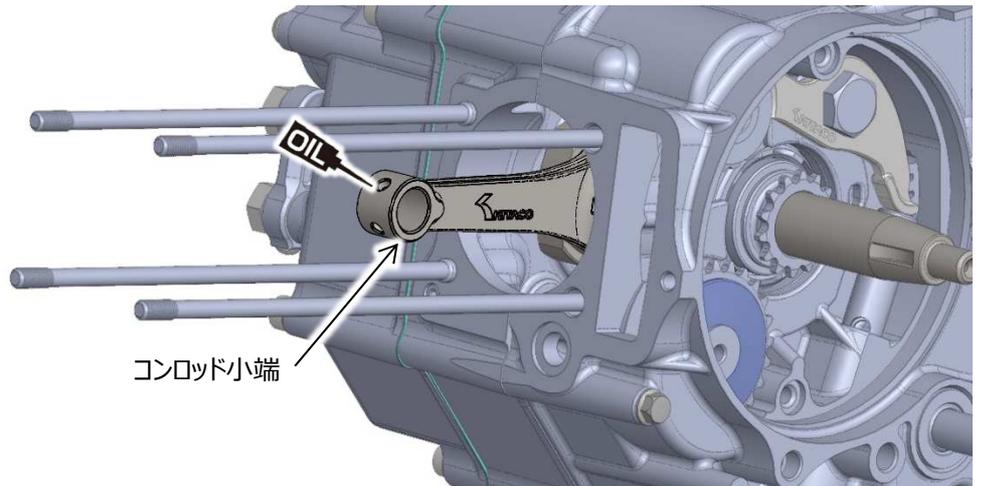


スペーサ (合口)



ピストンピンクリップ

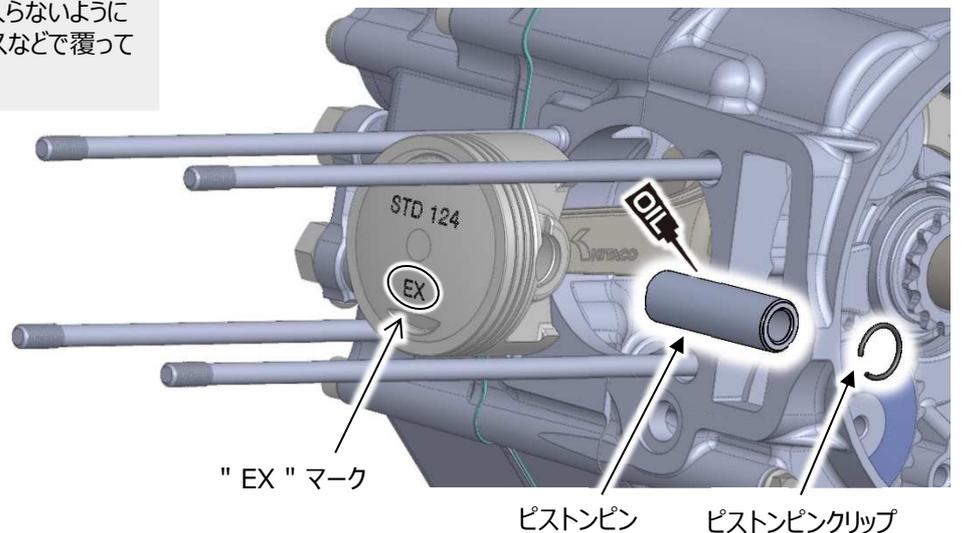
- コンロッド小端穴にエンジンオイルを塗布します。



コンロッド小端

- ピストンピンにエンジンオイルを塗布します。
ピストンを「EX」マークが排気側になるように取り付けます。

- ⚠️ ピストンピンクリップがクランクケース内に入らないようにするため、クランクケースの開口部をウエスなどで覆って作業すること。



"EX" マーク

ピストンピン

ピストンピンクリップ

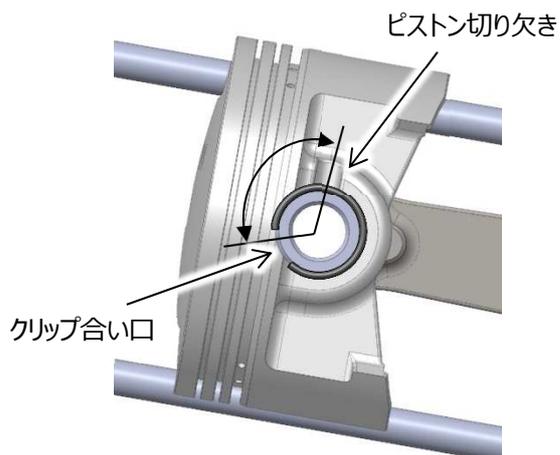
ピストンの取り付け

- ピストンピンクリップを溝に正しくセットします。
- クリップの合い口隙間とピストンの切り欠きの位置を合わせないでください。

⚠ ピストンピンクリップは常に新品を使用してください。
使用済みのピストンピンクリップを再度取り付けると、
エンジンに深刻な損傷が生じる可能性があります。

補修部品: ピンクリップ 13mm

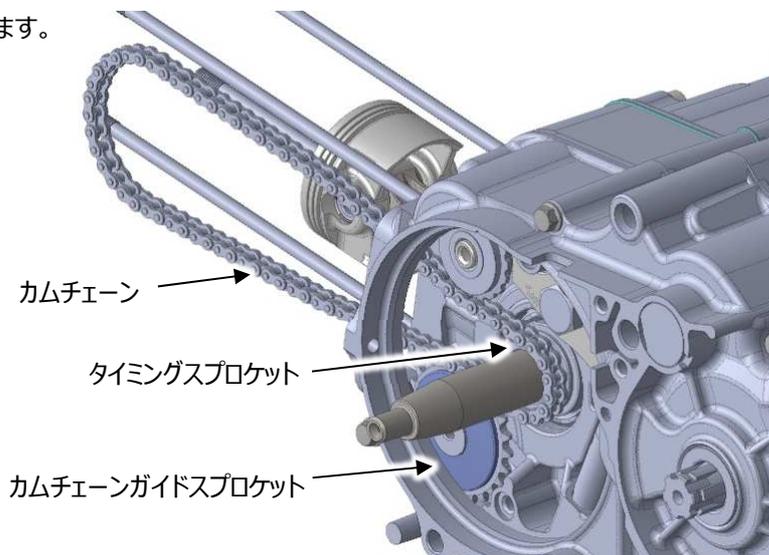
商品コード: 354-0000130



カムチェーンの取り付け

- クランクシャフトタイミングsproケットにカムチェーンを取り付けます。

⚠ カムチェーンガイドsproケットとクランクケースの間に
カムチェーンが噛みこまないように注意すること。



シリンダーの取り付け

- カムシャフトやロッカーアームの潤滑油はシリンダー内のオイルラインを通して供給されます。
シリンダーを取り付ける前にオイルラインを洗浄します。

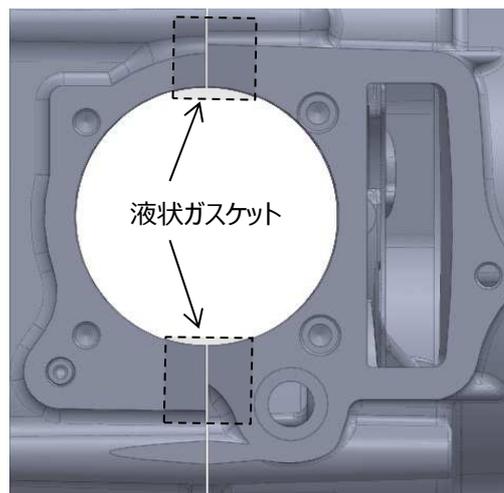
ⓘ 新品であっても洗浄作業を行ってください。

- 図のように、クランクケースの斜線部分に液状ガスケットを塗布します。

⚠ シリンダー壁やピストン、合わせ面を傷つけないように注意すること。
シリンダー取り付け時のピストンリングの損傷に注意すること。
カムチェーンがクランクケース内に落ちないように注意すること。

オプション部品: KC-027

商品コード: 0900-969-00010

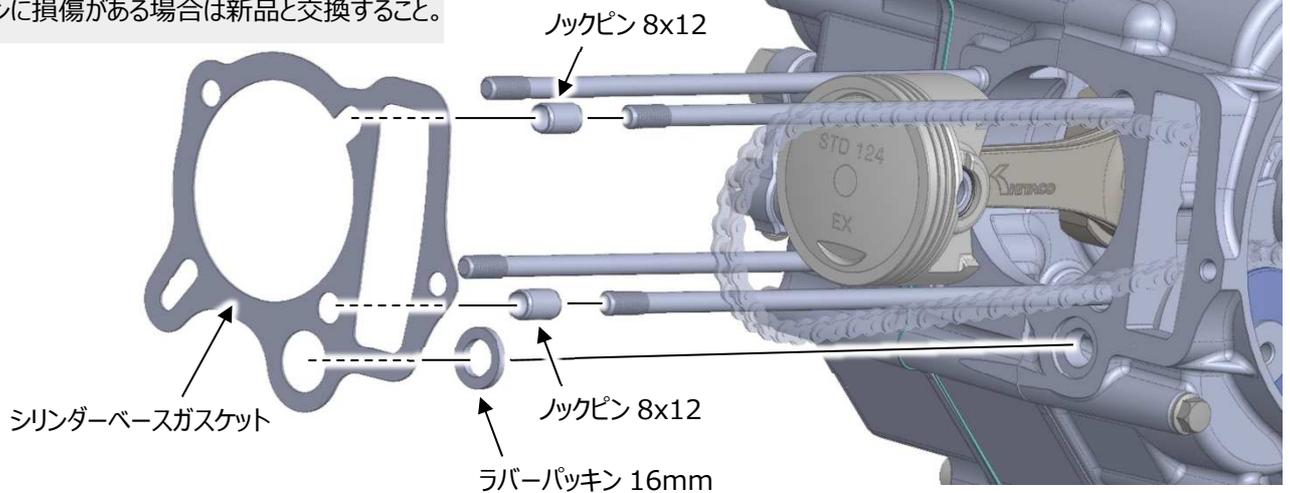


シリンダーの取り付け

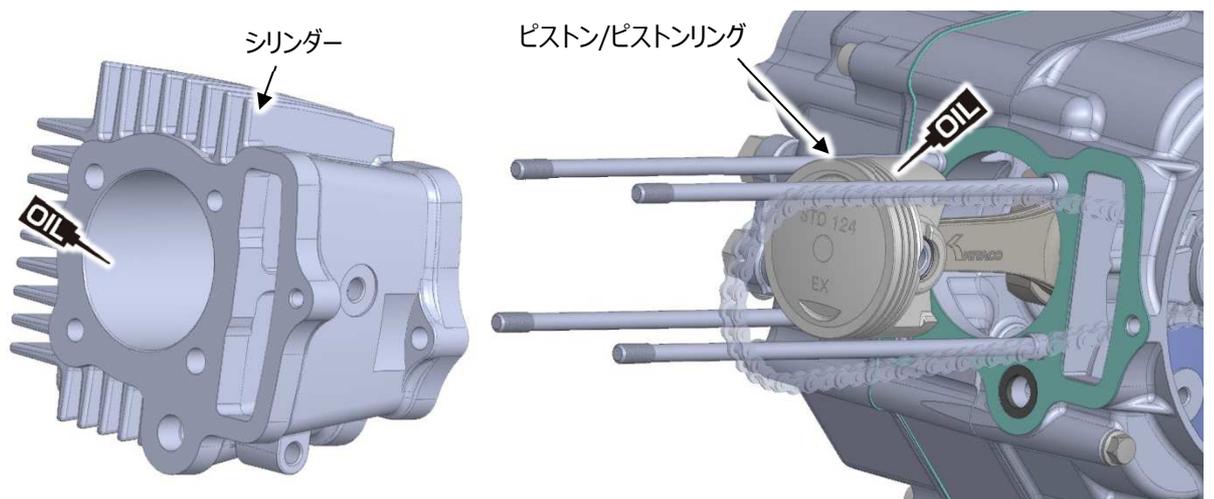
- シリンダーベースガスケット、ロックピン 8x12、ラバーパッキン 16mm を取り付けます。

i 作業中のラバーパッキン 16mm の脱落に注意してください。

! ロックピンに損傷がある場合は新品と交換すること。



- シリンダー、ピストン摺動面にエンジンオイルを塗布します。
ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。
ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーをピストンに取り付けます。



- カムチェーンガイドローラー、新品のシーリングワッシャー、カムチェーンガイドローラーピンボルト、シリンダーボルト 6mm を取り付けます。

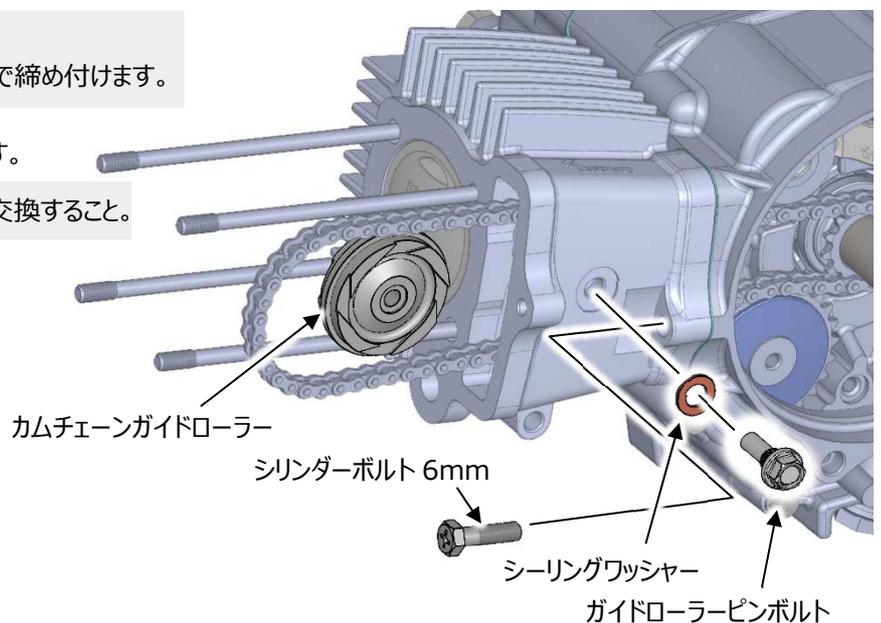
i シリンダーボルト 6mm は仮締め状態にします。
シリンダーヘッドナットを締め付け後、規定トルクで締め付けます。

- ガイドローラーピンボルトを規定トルクで締め付けます。

! ガイドローラーに損傷、劣化がある場合は新品と交換すること。

i ガイドローラーピンボルト
締め付けトルク：10 N・m

オプション部品：シーリングワッシャー
商品コード：70-090-14321



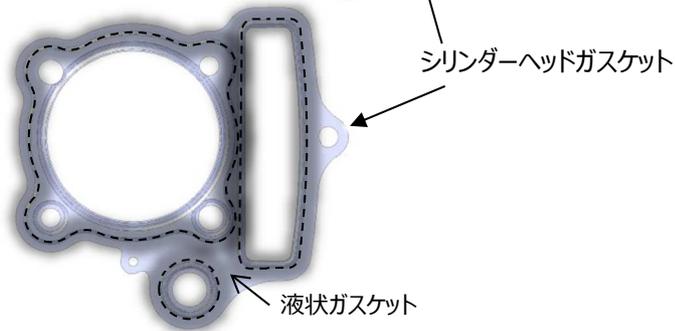
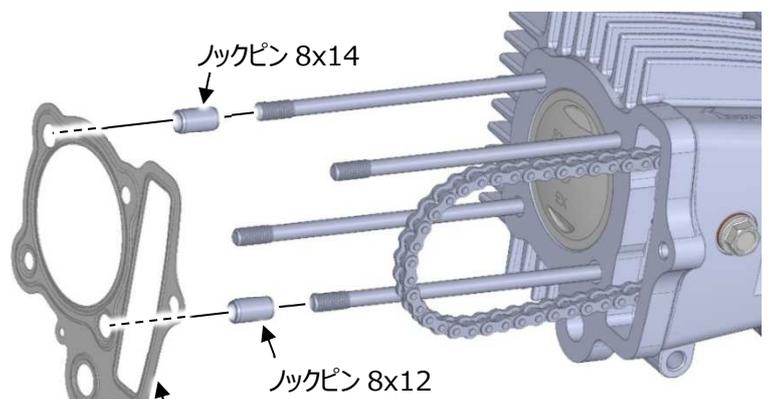
シリンダーの取り付け

- ノックピン 8x14、シリンダーヘッドガasketを取り付けます。

⚠ ノックピンに損傷がある場合は新品と交換すること。

- 図のようにオイルリターン穴等のビード部に液状ガasketを塗布します。

⚠ 厚く塗りすぎないように、指でタップし（トントンと押し当て）塗布すること。



補修部品：ノックピン 8x14
商品コード：70-989-08140

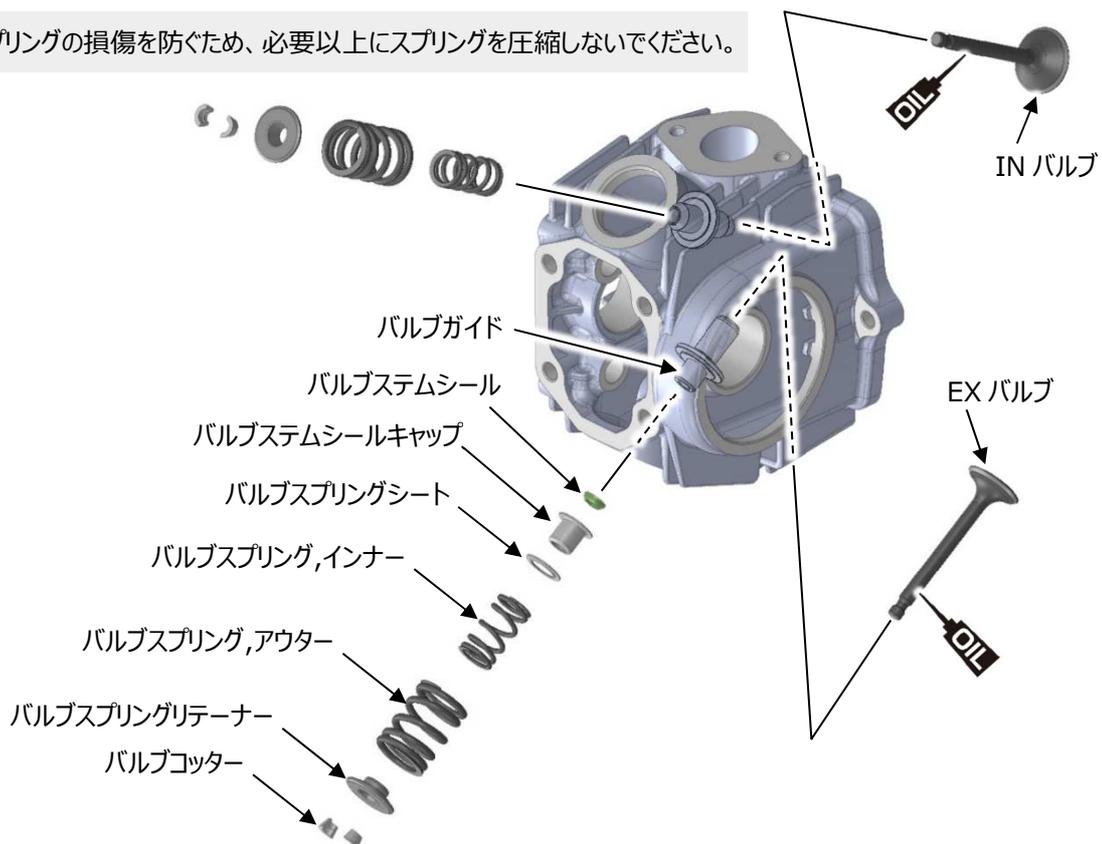


シリンダーヘッドの組み立て

製品出荷時はバルブ組み込み済みです。本項は参考に記載しています。

- シリンダーヘッドのオイルラインを清掃します。
 - バルブステムシールキャップ、バルブスプリングシート、バルブステムシールを取り付けます。
- ⓘ バルブステムシールを取り外した場合は新品と交換してください。
- バルブステムに摺動面にエンジンオイルを塗布し、ステムシールを損傷しないようにバルブを回しながらバルブガイドに差し込みます。バルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを圧縮し、リテーナーにバルブコッターを取り付けます。

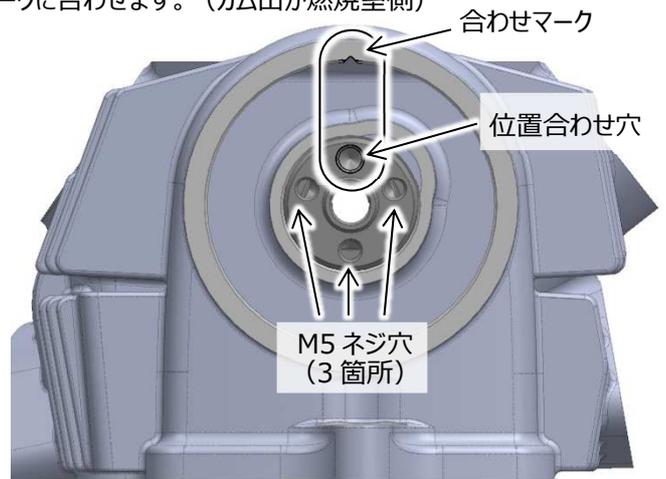
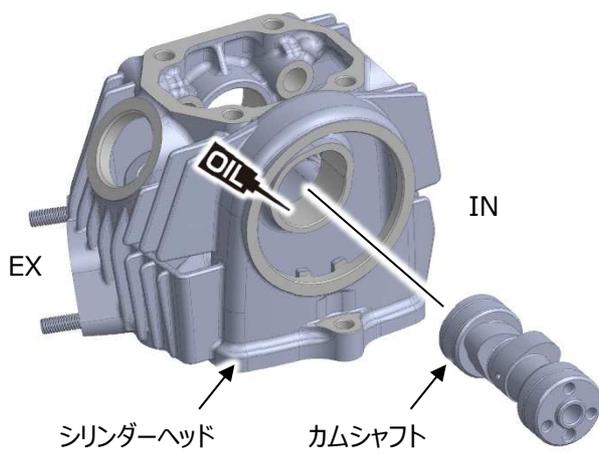
ⓘ バルブスプリングの損傷を防ぐため、必要以上にスプリングを圧縮しないでください。



シリンダーヘッドの組み立て

- カムシャフトにエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。

カムシャフトを回転させ、位置合わせ穴をシリンダーヘッドの合わせマークに合わせます。(カム山が燃焼室側)

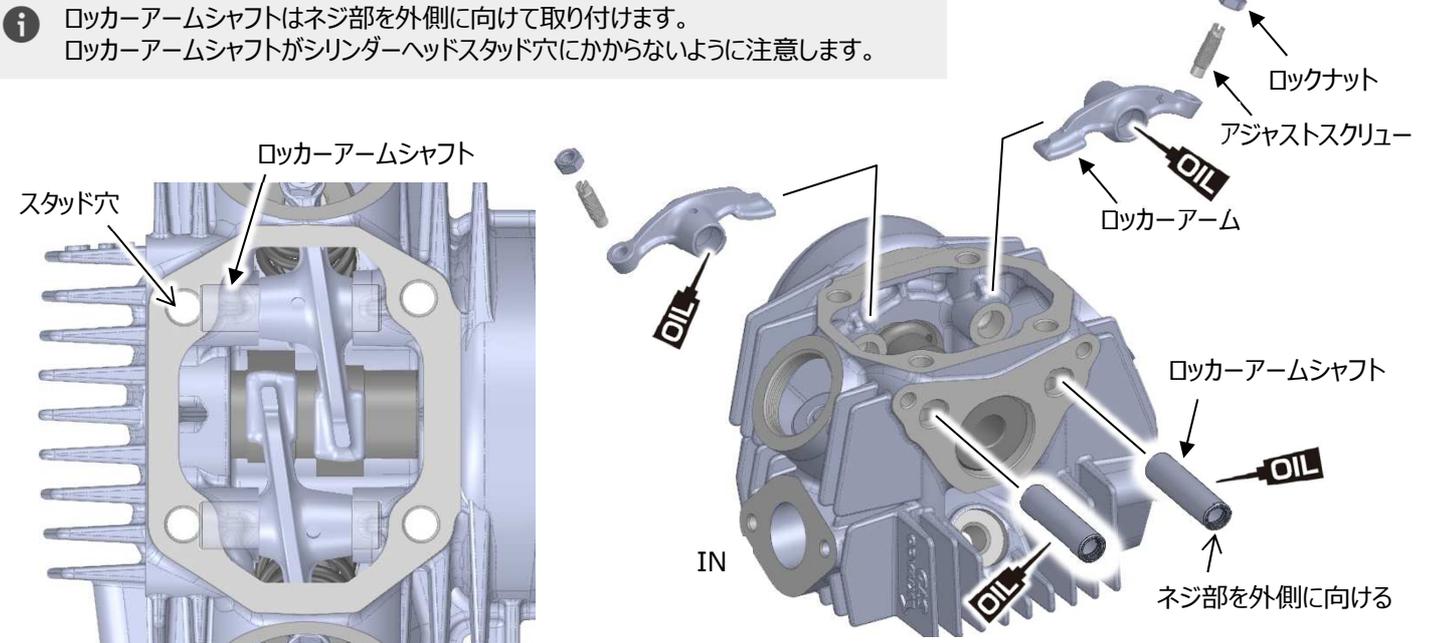


- ロッカーアームシャフトにエンジンオイルを塗布し、ロッカーアームシャフト、ロッカーアームをシリンダーヘッドに取り付けます。

ロッカーアームはタペットアダプタスクルーを緩めた状態で取り付けます。

ロッカーアームシャフトはネジ部を外側に向けて取り付けます。

ロッカーアームシャフトがシリンダーヘッドスタッド穴にかからないように注意します。



オプション部品：ロッカーアームシャフト
商品コード：70-303-10132



オプション部品：DLC ロッカーアームシャフト
商品コード：303-1083990



オプション部品：チタンナット&アダプタスクルー-SET
商品コード：303-0600000

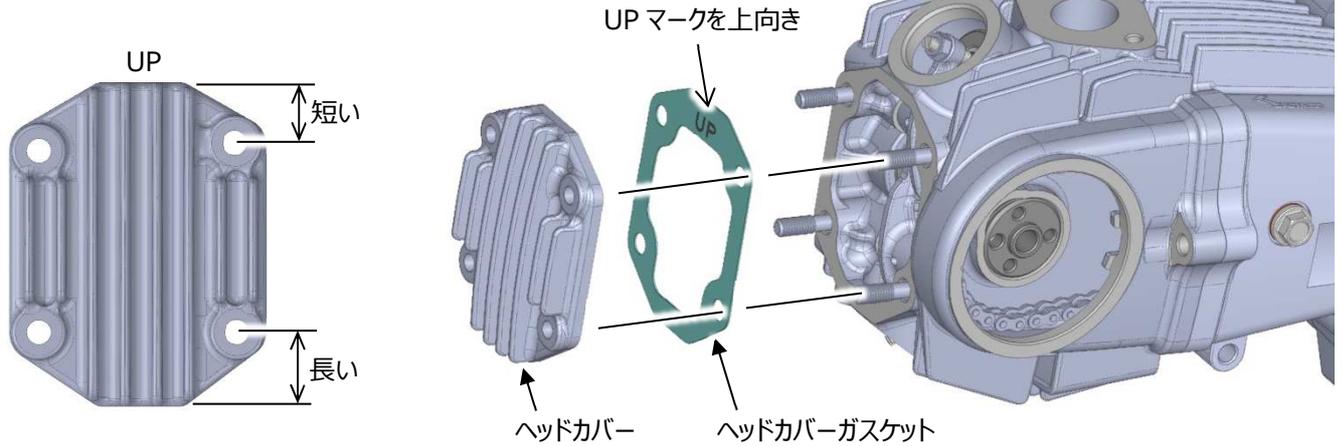


オプション部品：ULTRA ハイカムシャフト
商品コード：300-1013700



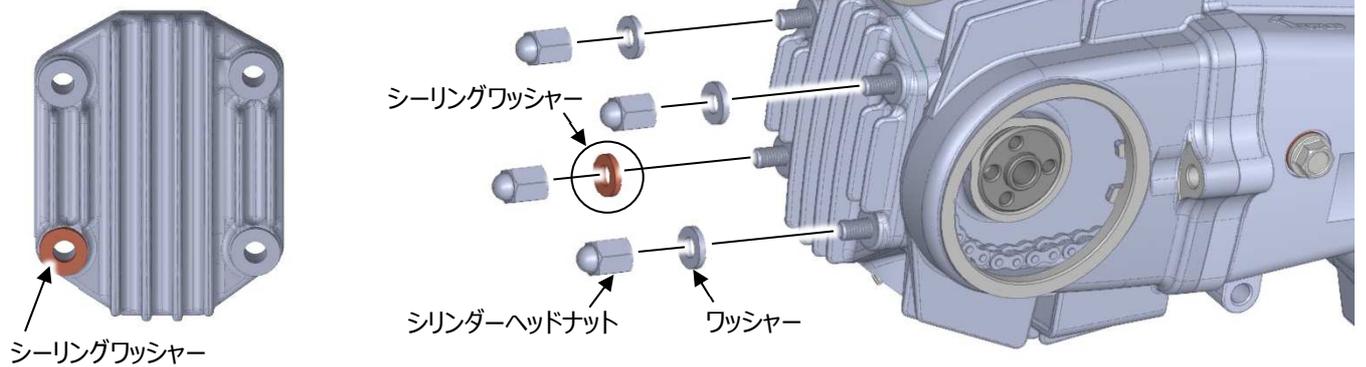
シリンダーヘッドの取り付け

- カムチェーンをシリンダーヘッド内に通し、シリンダーヘッドを取り付けます。
ヘッドカバーガスケット、ヘッドカバーを取り付けます。



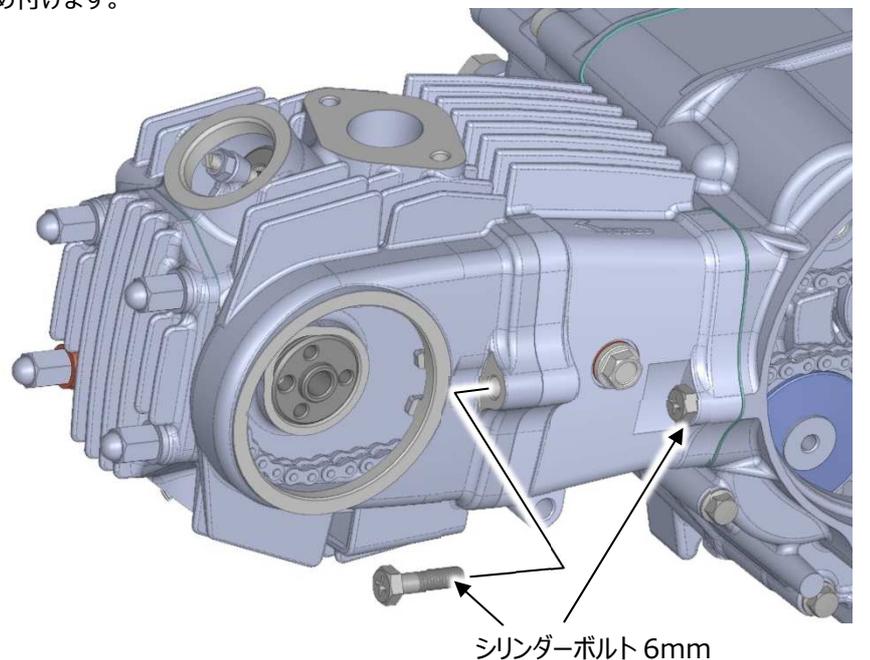
- シリンダーヘッドナットのネジ部にエンジンオイルを塗布します。
ワッシャー、シーリングワッシャーを取り付け、ヘッドナットを対角線上に2〜3回に分けて規定トルクで締め付けます。

シリンダーヘッドナット
締め付けトルク：12 N・m



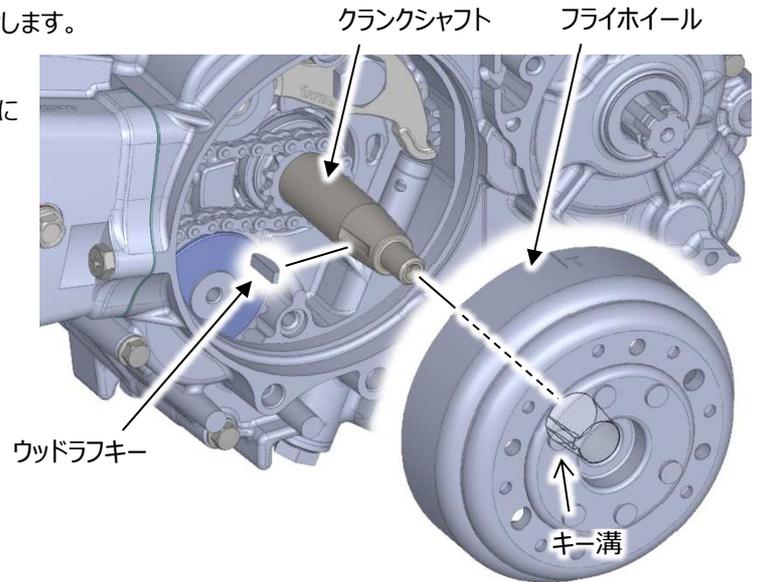
- シリンダーボルト 6mm を取り付け、規定トルクで締め付けます。

シリンダーボルト 6mm
締め付けトルク：10 N・m



カムプロケットの取り付け/バルブタイミング

- バルブタイミングを合わせるために、フライホイールを仮に取り付けします。
ウッドラフキーをクランクシャフトのキー溝に取り付けます。
フライホイールのキー溝をウッドラフキーに合わせ、クランクシャフトに取り付けます。

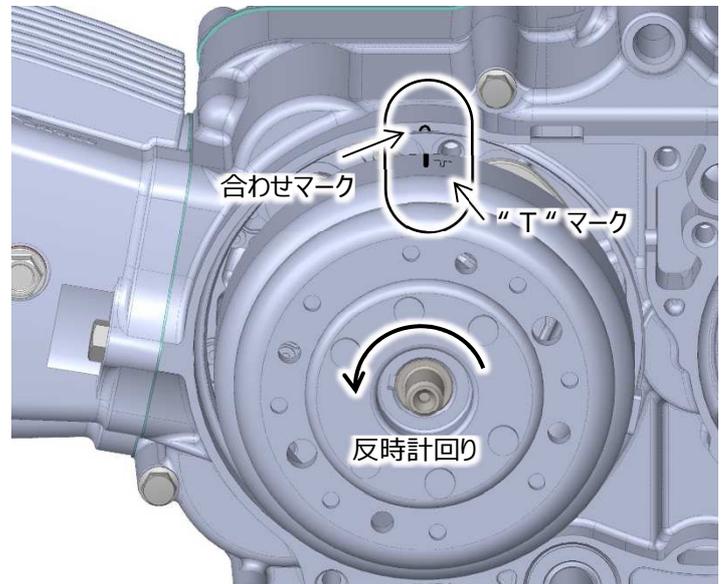


補修部品：ウッドラフキー
商品コード：309-1123090



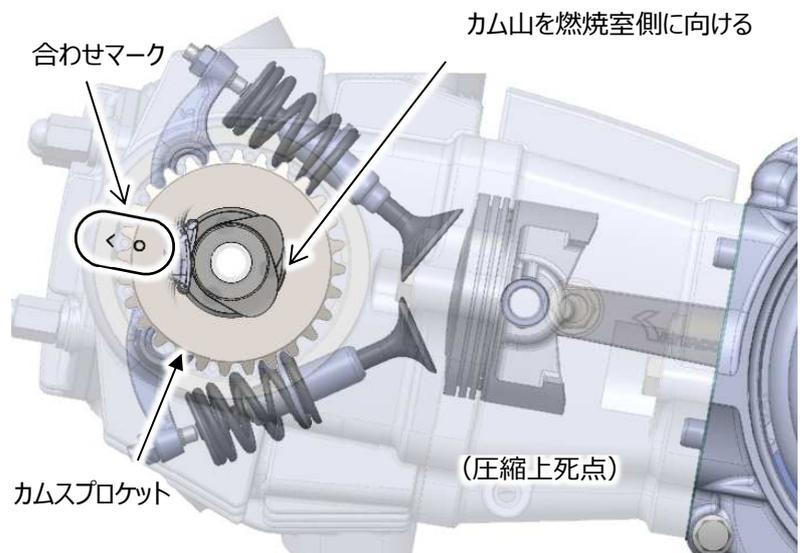
- クランクシャフトを反時計回りに回転させ、フライホイールの「T」マークを左クランクケースカバーの合わせマークに合わせます。
(圧縮上死点の状態)

⚠ クランクシャフトを回転させる際、カムチェーンがタイミングスプロケットやクランクシャフトに噛み込まないように注意すること。



- カムチェーンをカムプロケットに取り付けます。
図のように「O」マークが外側を向くようにし、カムプロケットの3穴とカムシャフトの穴を合わせます。
圧縮上死点の状態でカムプロケットの合わせマークとシリンダーヘッドの溝を合わせます。

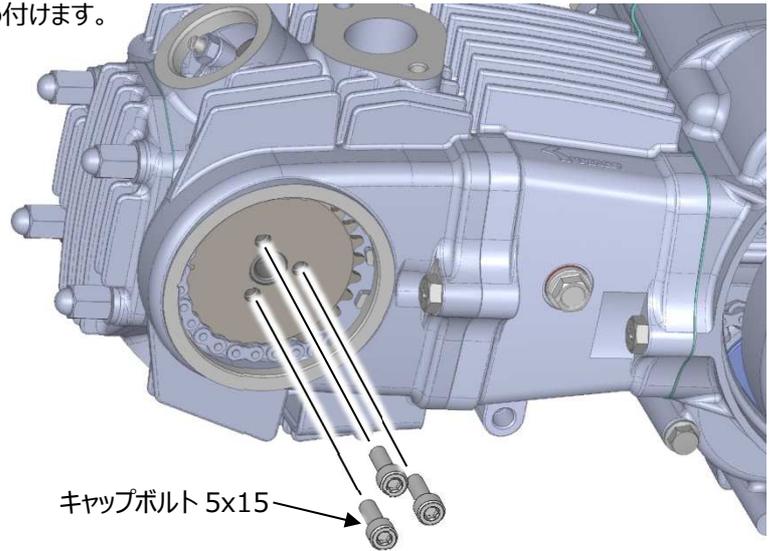
ⓘ カムプロケットの合わせマークが合っていない場合は、カムチェーンを掛け直して再度合わせてください。



カムプロケットの取り付け/バルブタイミング

- ユニバーサルホルダーを使用してフライホイールを固定します。
カムプロケット、キャップボルト 5x15 のネジ山と座面にエンジンオイルを塗布します。
カムプロケット、キャップボルトを取り付け、規定トルクで締め付けます。

📄 キャップボルト 5mm
締め付けトルク：8 N・m

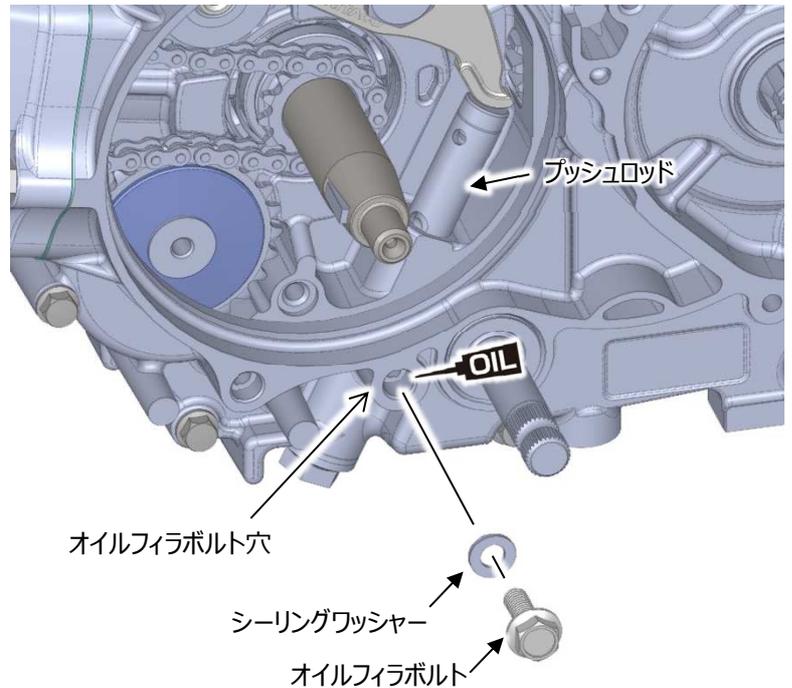


- 仮に付けしていたフライホイールを取り外します。
- オイルフィラボルト穴からプッシュロッド内にエンジンオイルを注入します。
- 新品のシーリングワッシャー、オイルフィラボルトを取り付け、締め付けます。

📄 オイルフィラボルト 6mm
締め付けトルク：10 N・m

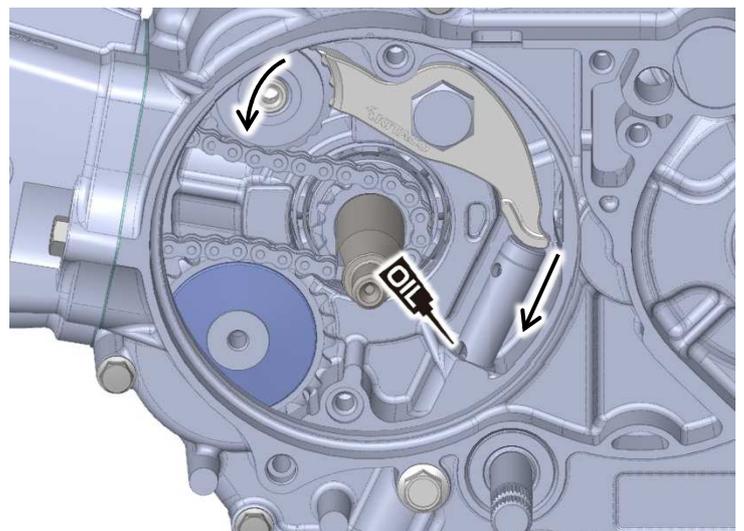
⚠️ オイルフィラボルトは必ず指定のボルトを使用すること。
指定外の長さのボルトを使用すると、プッシュロッドの
作動に支障をきたす恐れがあります。

オプション部品：シーリングワッシャー
商品コード：70-092-14321



- カムチェーンテンショナーに張りがあるか確認します。
張りが無い場合はプッシュロッド内にオイルを追加、点検を
行ってください。

⚠️ プッシュロッドのワンウェイバルブが機能しているか
確認すること。



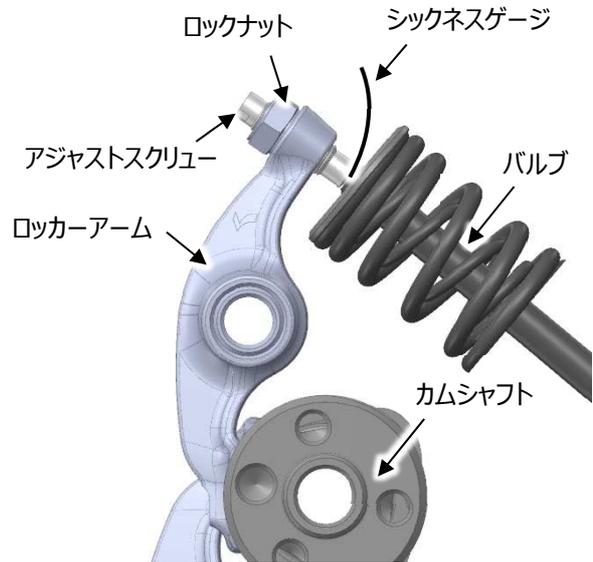
バルブクリアランス

- クランクシャフトを反時計方向に回し、圧縮上死点に合わせます。
- アジャストスクリューとバルブの間にシクネスゲージを挿入してバルブクリアランスを確認します。
ロックナットを緩めてシクネスゲージにわずかな抵抗を感じるまでアジャストスクリューを調整します。
ロックナットにエンジンオイルを塗布し、アジャストスクリューを押さえロックナットを規定トルクで締め付けます。

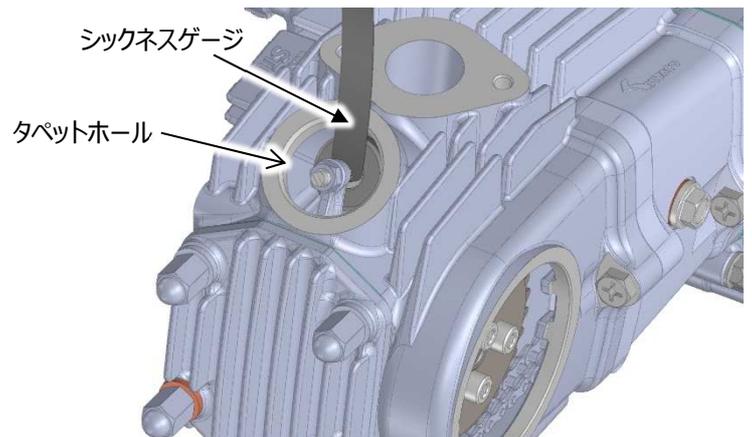
⚠ バルブクリアランスの点検と調整は、エンジンが冷えている状態（35°C 以下）で行ってください。

バルブクリアランス：
IN：0.05mm
EX：0.07mm

📄 アジャストスクリューロックナット
締め付けトルク：9 N・m



- ロックナット締め付け後、再度バルブクリアランスを確認します。



タペットホールキャップの取り付け

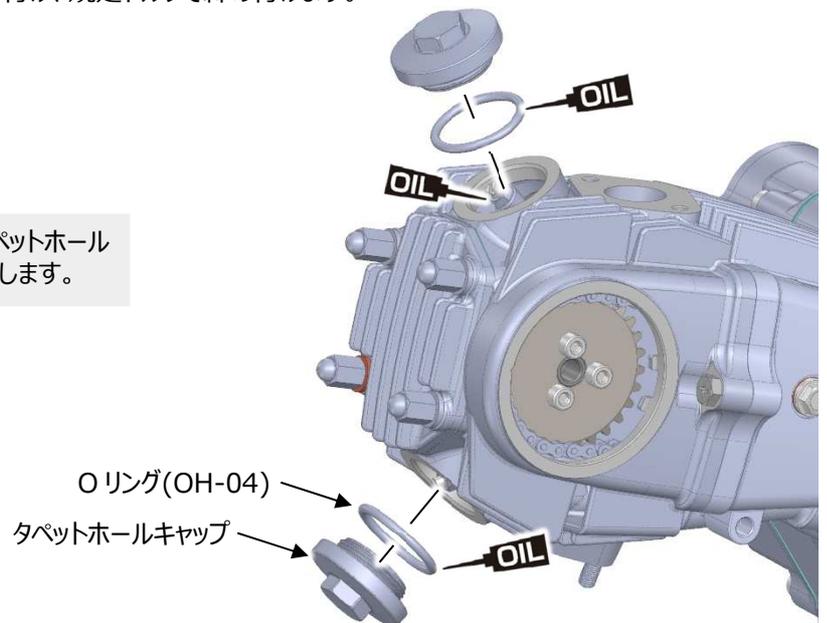
- 新品の Oリングをタペットホールキャップに取り付けます。
Oリングにエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ Oリングに損傷がある場合は新品と交換すること。

📄 タペットホールキャップ
締め付けトルク：12 N・m

- EX 側のタペットホールキャップを取り付け、IN 側のタペットホールからカムシャフト、ロッカーアームにエンジンオイルと塗布します。

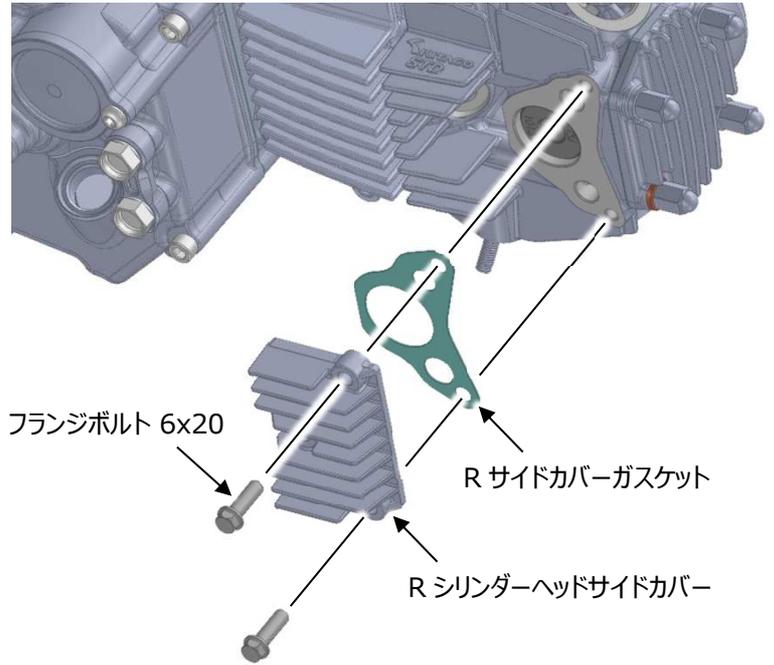
補修部品：OH-04
商品コード：70-967-31040



シリンダーヘッドサイドカバーの取り付け

- R サイドカバーガスケット、R シリンダーヘッドサイドカバー、フランジボルトを取り付け、規定トルクで締め付けます。

フランジボルト 6mm
締め付けトルク：10 N・m



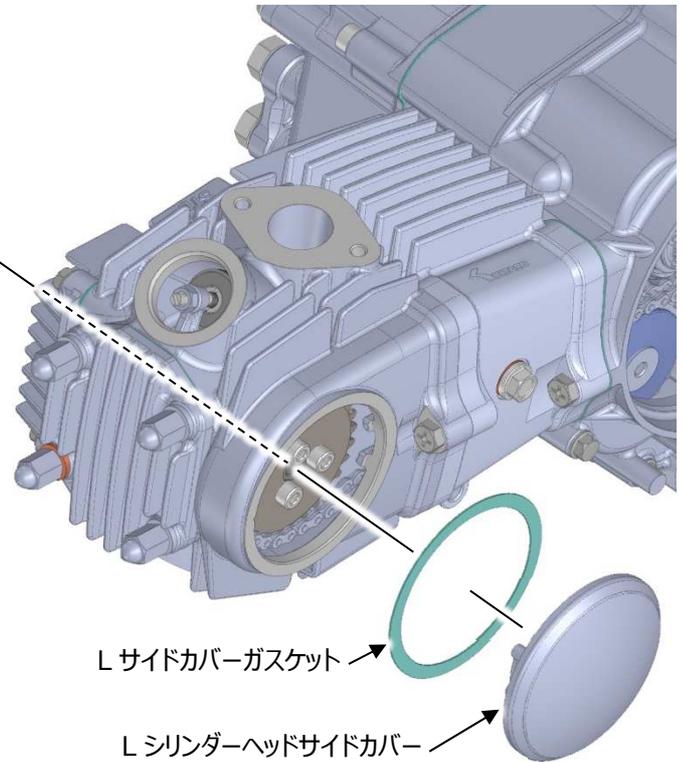
- L サイドカバーガスケット、L シリンダーヘッドサイドカバー、新しいシーリングワッシャー、フランジボルトをシリンダーヘッドに取り付け、規定トルクで締め付けます。

フランジボルト 6x110

フランジボルト 6mm
締め付けトルク：10 N・m

シーリングワッシャー

オプション部品：シーリングワッシャー
商品コード：70-092-14321

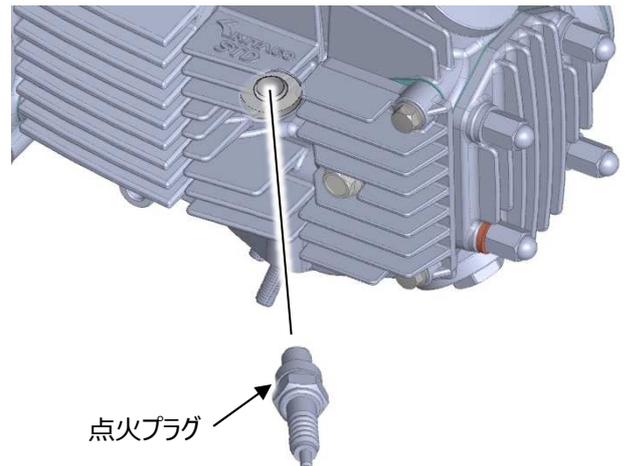


点火プラグの取り付け

- 点火プラグをシリンダーヘッドに取り付けて手で締め、次に規定トルクで点火プラグを締めます。

⚠ シリンダーヘッドの損傷を防ぐため、レンチを使用して規定のトルクで締め付ける前に、まず手で締めてください。

点火プラグ
締め付けトルク：12 N・m



AC ジェネレーター取り付け

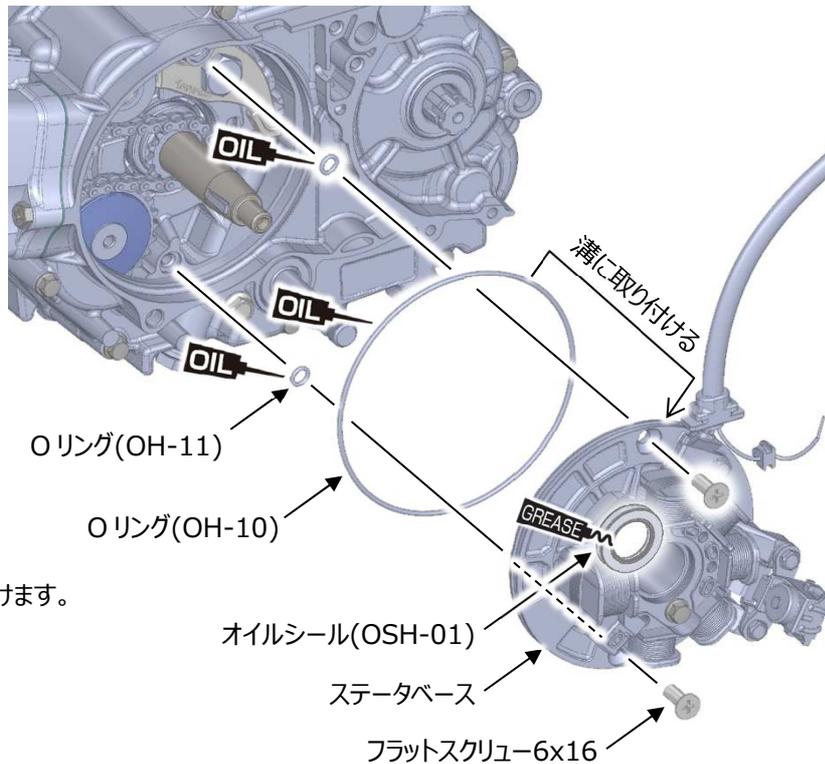
- オイルシールのリップ部にグリスを塗布します。
ステータベースの溝に Oリングを取り付け、エンジンオイルを塗布します。
- クランクケースのザグリ部に Oリングを取り付けます。

⚠ ステータベースの取り付け時にオイルシール、Oリングの損傷に注意すること。

i Oリングをクランクケース内に落とさないように注意してください。

- フラットスクルー6mm を取り付け、規定トルクで締め付けます。

📄 フラットスクルー6mm
締め付けトルク：9 N・m



オプション部品: OH-11
商品コード: 70-967-31110



オプション部品: OH-10
商品コード: 70-967-31100



オプション部品: OSH-01
商品コード: 70-967-41010



フライホイールの取り付け

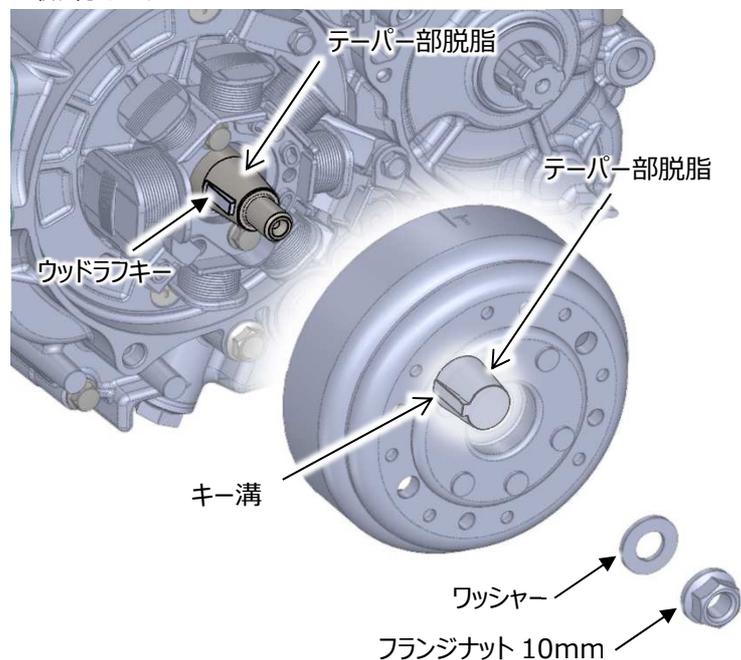
- クランクシャフトとフライホイールのテーパ部（合わせ面）を脱脂します。
フライホイールのキー溝をウッドラフキーに合わせ、クランクシャフトに取り付けます。

⚠ テーパー部に損傷がある場合は新品と交換すること。

- ワッシャー、フランジナット 10mm を取り付け、フライホイールをユニバーサルホルダーで固定し規定トルクで締め付けます。

📄 フランジナット 10mm
締め付けトルク：38~42 N・m

⚠ 締め付けトルクは参考値です。必ずご使用されるフライホイール、ナットに準じたサービスマニュアルを参照してください。

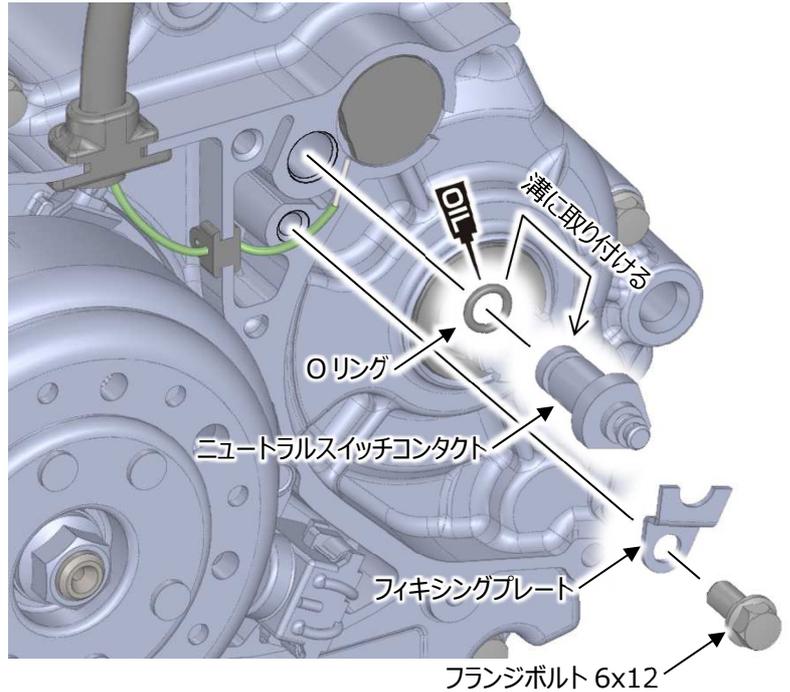


ニュートラルスイッチコンタクトの取り付け

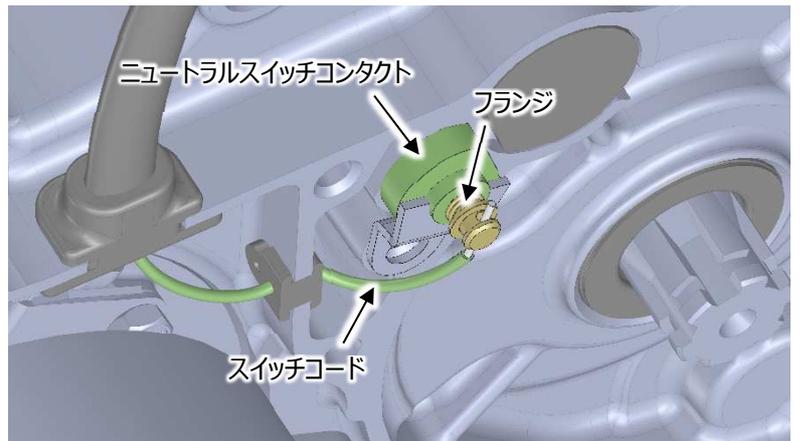
- ニュートラルスイッチコンタクトの溝に O リングを取り付けます。
O リングにエンジンオイルを塗布し、クランクケースに取り付け、突き当たるまで押し込みます。

⚠ O リングに損傷がある場合は新品と交換すること。

- フィキシングプレート、フランジボルトを取り付けます。



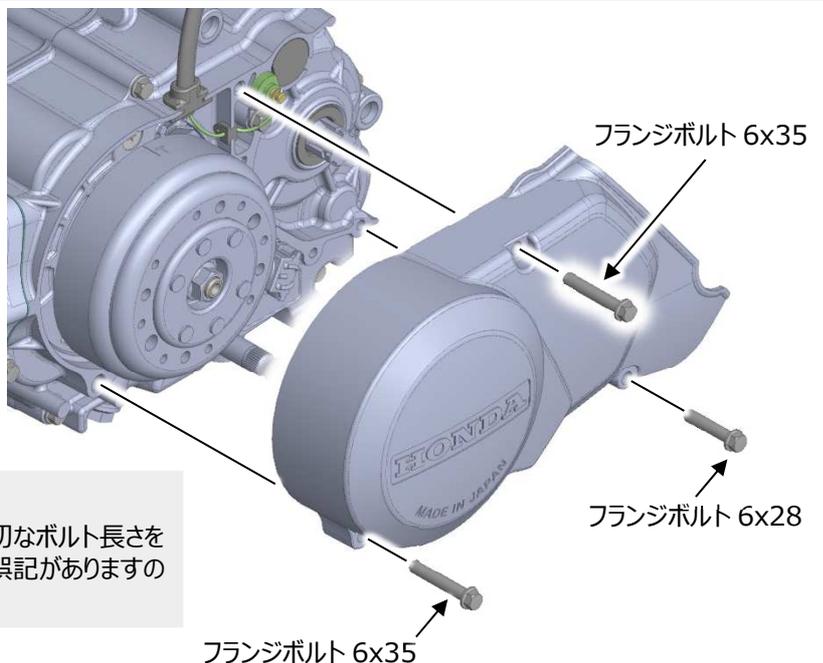
- ニュートラルスイッチコンタクトのフランジを押して、スイッチコードを接続します。



L クランクケースカバーの取り付け

- クランクケースに L クランクケースカバー、フランジボルトを取り付け規定トルクで締め付けます。

📄 フランジボルト 6mm
締め付けトルク : 10 N・m



⚠ ボルトの長さは参考です。
必ず使用する L クランクケースカバーに合わせて、適切なボルト長さをご確認ください。一部のパーツリストにはボルト長さの誤記がありますので、ご注意ください。

組み立て後のエンジン始動

- エンジンオイルがエンジン内部に循環するまでのタイムラグで、焼き付く可能性があります。以下の手順を行ってください。
 1. スパークプラグを外し、シリンダーヘッド内にオイルが出てくるまで、キック（クランキング）を行います。
 2. オイルが確認できたら、スパークプラグを取り付けます。
 3. エンジンを始動します。

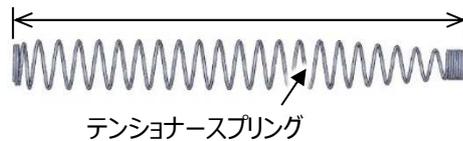
熱入れのためのテスト走行

- 1回の走行時間を15分程度を目安とし、熱入れと冷却を複数回繰り返してください。エンジンに負担をかけないよう、低回転で走行してください。（停止状態ではなく、走行風での冷却は必要です。）
- 冷却後、増し締め作業を行ってください。

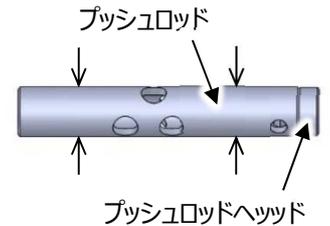
再使用部品の点検

- カムチェーンテンショナー Springs の自由長を測定します。

テンショナー Springs 自由長
使用限度：100mm



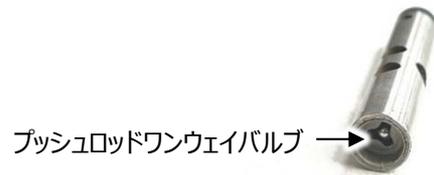
テンショナー Springs



- プッシュロッドの外径を測定します。

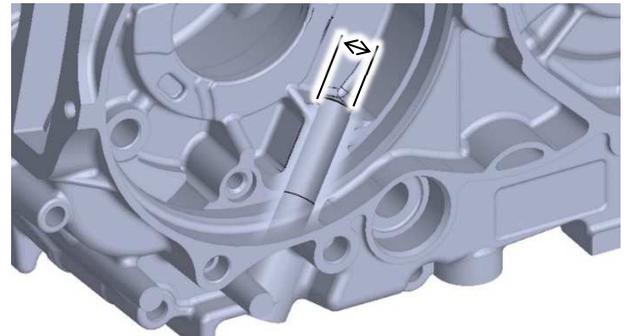
プッシュロッド外径
使用限度：11.94mm

- シュロッドの摺動部、プッシュロッドヘッドの異常摩耗、損傷を点検します。プッシュロッドワンウェイバルブの損傷、詰まりを点検します。



- L クランクケースのプッシュロッド穴部分に摩耗や損傷がないか点検します。プッシュロッド穴の内径を測定します。

内径基準値 : 12 $+0.07$
 $+0.02$



- テンショナーローラー、カムチェーンガイドローラーの摺動部、異常摩耗、損傷、硬度を点検します。

新品と比べ、硬化している
場合は交換してください。



- カムチェーンの亀裂、固着がないか確認する。亀裂、固着があればカムスプロケット、カムチェーンガイドスプロケットと共に交換する。

⚠ 本項目は参考に記載しています。その他の点検項目はホンダが発行するサービスマニュアルを必ず確認してください。